

2025年度（2026年3月期） 決算説明資料（IFRS）

IHI

2026年5月8日

株式会社 IHI



常務執行役員 グループ財務担当
大嶋裕美

1. ハイライト
2. 2025年度 連結決算
3. 2026年度 連結業績見通し
4. キャピタル・アロケーション (FY2026-FY2028)
5. Appendix

(注1) 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

(注2) 以下のページではセグメント略称を使用しています。

エネ：資源・エネルギー・環境

社基：社会基盤

産汎：産業システム・汎用機械

空：航空・宇宙・防衛

2025年度 実績

業績概況

- ・ 原子力等エネルギー分野での需要拡大により、過去最高の受注高を達成
- ・ 防衛や原子力の成長、資産売却等が構造改革費用をカバーし、売上収益・営業利益は過去最高
- ・ 収益力向上に伴う税効果の改善が寄与し、当期利益も大きく増益、過去最高を達成

受注高

1兆9,547億円

YoY +2,036億円

売上収益

1兆6,434億円

YoY +165億円

営業利益

1,655億円 (10.1%)

YoY +220億円 (+1.3pt)

EBITDA

2,418億円 (14.7%)

YoY +262億円 (+1.4pt)

当期利益

(親会社所有者帰属) **1,609億円**

YoY +482億円

営業CF

1,213億円

YoY ▲562億円

2026年度 見通し

業績概況

- ・ 民間エンジン、防衛の受注は拡大するも、エネルギー事業の前期大型案件の反動で受注高は減少
- ・ 地政学リスク等のバッファを一定程度織り込むものの、民間エンジン、防衛の大幅な成長や、大規模な計画的資産売却により、売上収益・営業利益・当期利益は3期連続過去最高値更新の見通し

受注高

1兆7,600億円

YoY ▲1,947億円

売上収益

1兆8,300億円

YoY +1,865億円

営業利益

2,400億円 (13.1%)

YoY +744億円 (+3.0pt)

EBITDA

3,200億円 (17.5%)

YoY +781億円 (+2.8pt)

当期利益

(親会社所有者帰属) **1,650億円**

YoY +40億円

営業CF

1,000億円

YoY ▲213億円

2025年度 連結決算



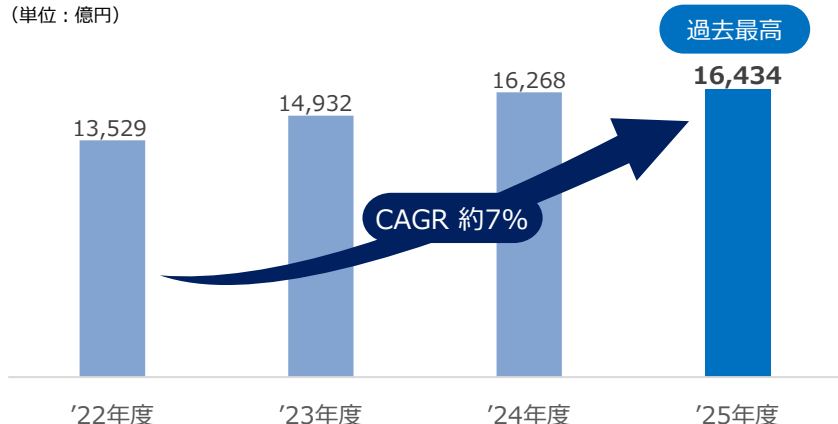
2025年度 連結決算 「グループ経営方針2023」総括

IHI

営業利益率・ROICの経営目標は前倒し達成するも、CCC未達でCF創出力は未だ課題
売上収益・営業利益は過去最高を達成、EPSも大きく成長

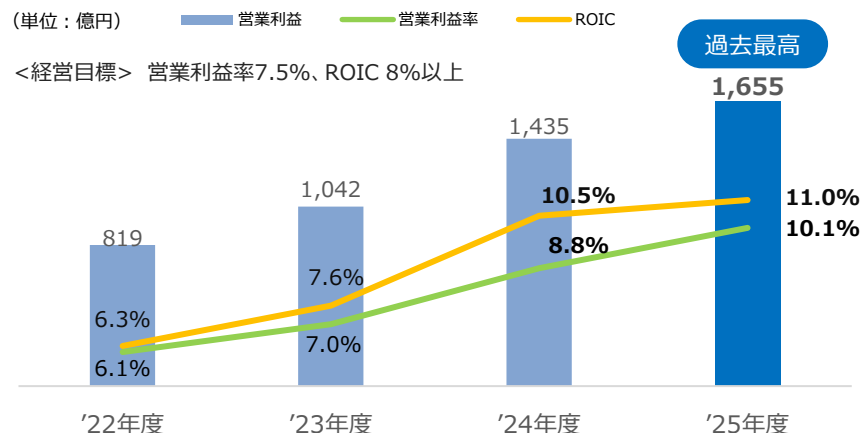
売上収益の拡大

(単位：億円)



収益性・効率性の向上

(単位：億円)



キャッシュ創出

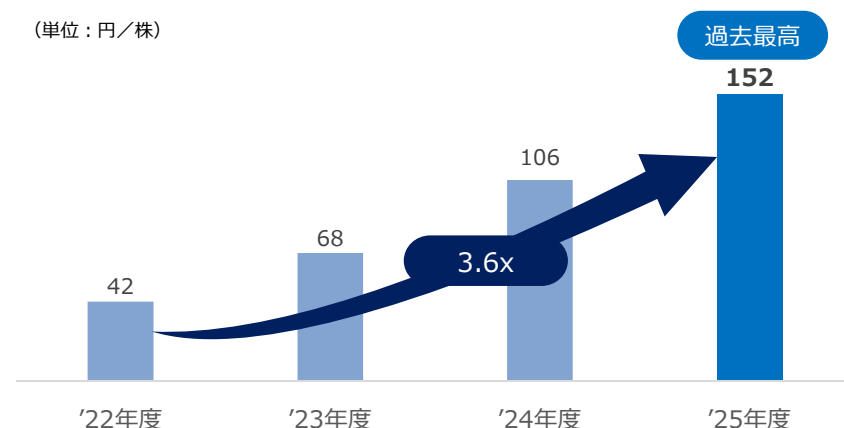
<経営目標> CCC100日

CCC (2025年度)	109日
累計営業CF (3年累計)	3,611億円
資産売却* (3年累計)	約1,000億円

*投資用不動産売却、政策保有株式売却、事業譲渡

EPSの成長

(単位：円/株)



2025年度 連結決算 実績概要

民間エンジン・防衛・原子力事業の成長、資産売却や税効果等で大幅に増収増益
受注高・売上収益・営業利益・税引前利益・当期利益の全てにおいて過去最高値を達成

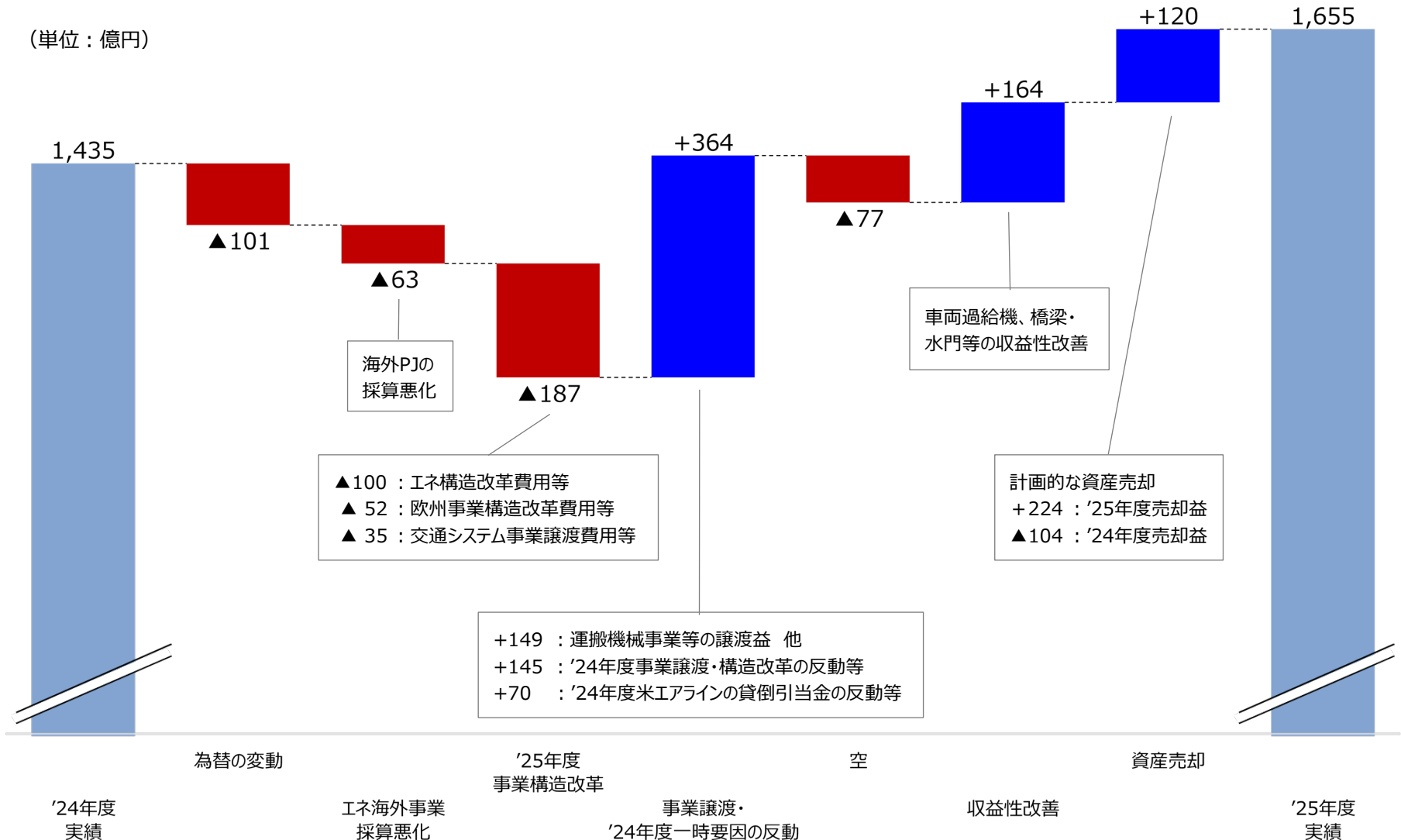
(単位：億円)	'24年度	'25年度	増減
受注高	17,511	19,547	(+11.6%) +2,036
売上収益	16,268	16,434	(+1.0%) +165
営業利益（率）	(8.8%) 1,435	(10.1%) 1,655	(+1.3pt) +220
金融損益等	▲50	199	+249
税引前利益（率）	(8.5%) 1,384	(11.3%) 1,854	(+2.8pt) +470
親会社所有者帰属当期利益（率）	(6.9%) 1,127	(9.8%) 1,609	(+2.9pt) +482
EPS	106.41円	151.88円	+45.47円
EBITDA（率）	(13.3%) 2,156	(14.7%) 2,418	(+1.4pt) +262
営業キャッシュ・フロー	1,776	1,213	▲562
ROIC	10.5%	11.0%	+0.5pt
ROE	26.3%	28.4%	+2.1pt
売上平均レート（USD）	152.84	151.09	▲1.75
期末日レート（USD）	149.45	159.84	+10.39

(注) '24年度の売上収益には+9億円、'25年度の売上収益には▲50億円のPW1100G-JMエンジン追加検査プログラムに関する為替評価替えによる影響を含む
なお、PW1100G-JMエンジン追加検査プログラムについて、影響の見積総額（USD）に変動なし

2025年度 連結決算 営業利益増減要因（全社）

採算が悪化したエネ海外事業を中心に構造改革を徹底的に実行
全体では事業の収益性改善や資産売却が寄与し、過去最高の営業利益を達成

（単位：億円）

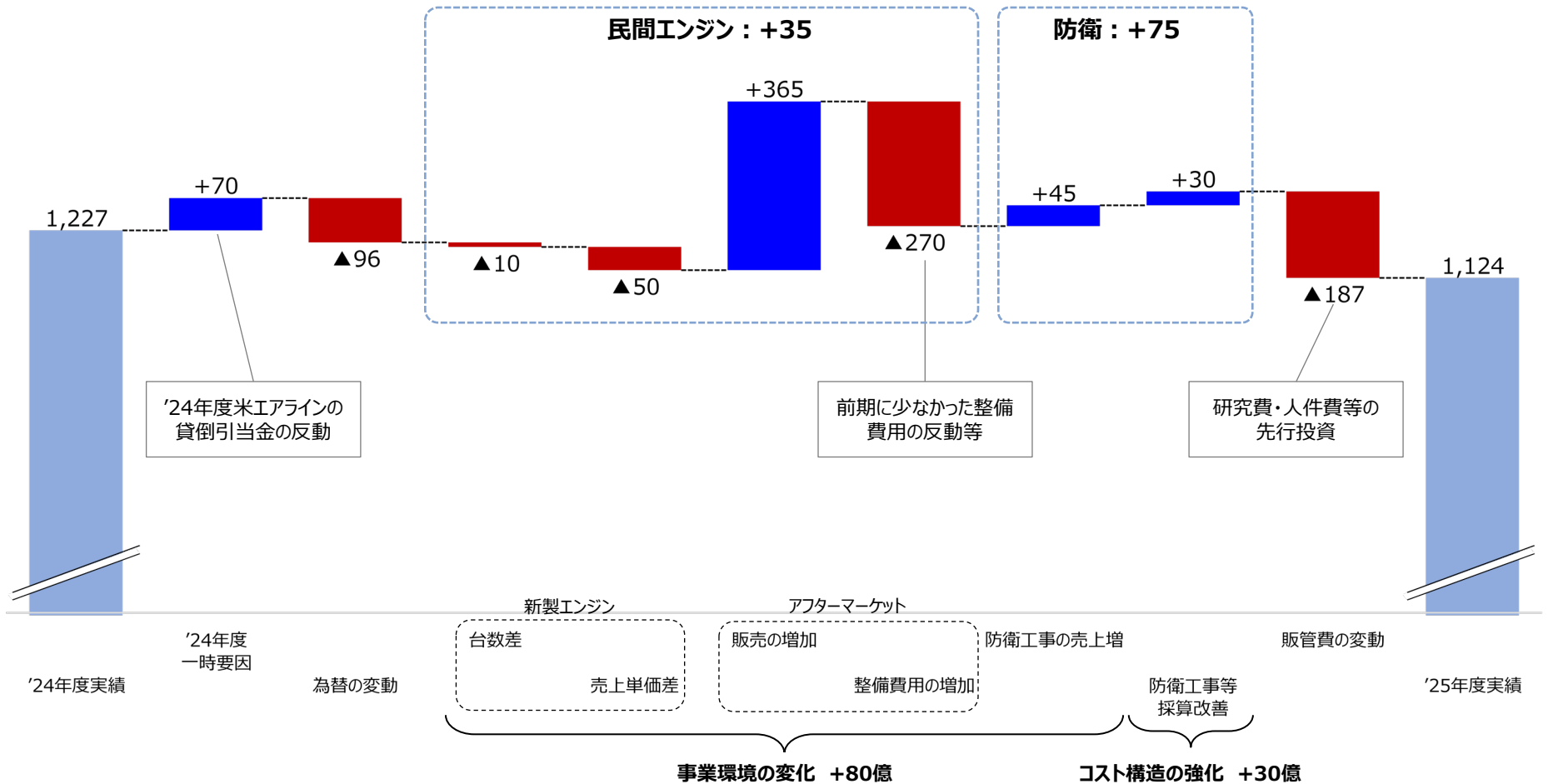


2025年度 連結決算

営業利益増減要因（航空・宇宙・防衛）

民間エンジンは整備費用の反動増はあるも、アフターマーケット事業は堅調に拡大
防衛も大きく増益するも、研究費等将来に向けた先行投資が利益を押し下げ

（単位：億円）



2025年度 連結決算 連結財政状態計算書

利益の積上げや有利子負債返済により、D/Eレシオと親会社所有者帰属持分比率は改善
事業拡大に伴い総資産は増加傾向にあるが、CCC・ROICは改善傾向

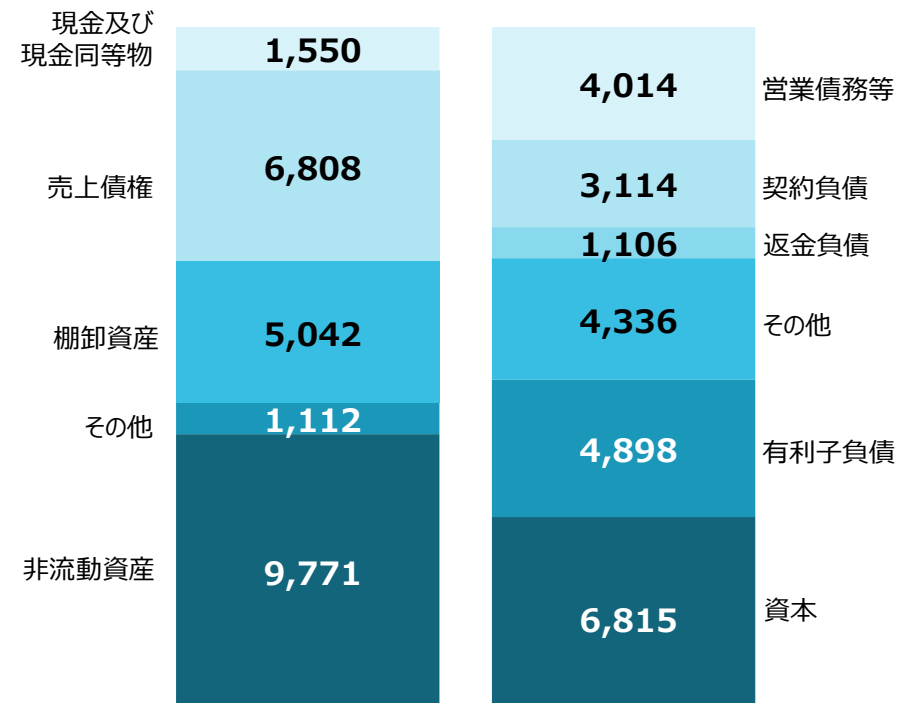
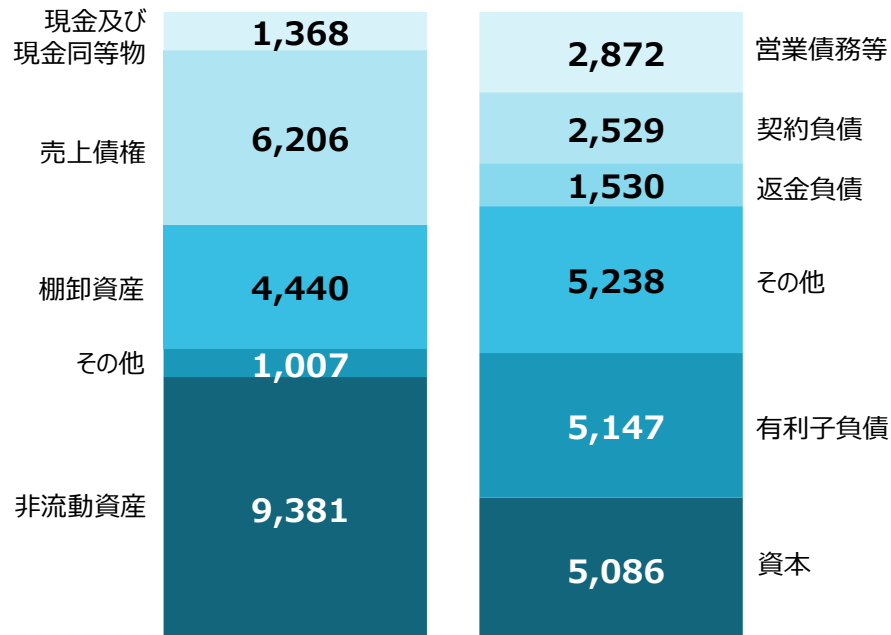
'24年度末

資産合計 : 22,403億円
D/Eレシオ : 1.01倍
親会社所有者帰属持分比率 : 21.5%
CCC : 115日
ROIC : 10.5%

'25年度末

資産合計 : 24,285億円 (+1,881億円)
D/Eレシオ : 0.72倍 (0.29pt改善)
親会社所有者帰属持分比率 : 26.9% (+5.4pt)
CCC : 109日 (6日短縮)
ROIC : 11.0% (+0.5pt)

(単位：億円)



2026年度 連結業績見通し



2026年度 連結業績見通し 業績見通し

民間エンジン・防衛は受注拡大するも、エネルギー事業の前期大型案件の反動で受注減
売上収益・営業利益は民間エンジン・防衛の拡大や資産売却により大幅に増収増益
売上収益・営業利益・税引前利益・当期利益は、3期連続で過去最高を見込む

(単位：億円)	'25年度		'26年度	増減
受注高	19,547		17,600	▲1,947
売上収益	16,434		18,300	+1,865
営業利益（率）	(10.1%)	1,655	(13.1%) 2,400	+744
税引前利益（率）	(11.3%)	1,854	(12.6%) 2,300	+445
親会社所有者帰属当期利益（率）	(9.8%)	1,609	(9.0%) 1,650	+40
EPS	151.88円		155.09円	+3.21円
EBITDA（率）	(14.7%)	2,418	(17.5%) 3,200	+781
前提為替レート（USD）	151.09		145.00	▲6.09

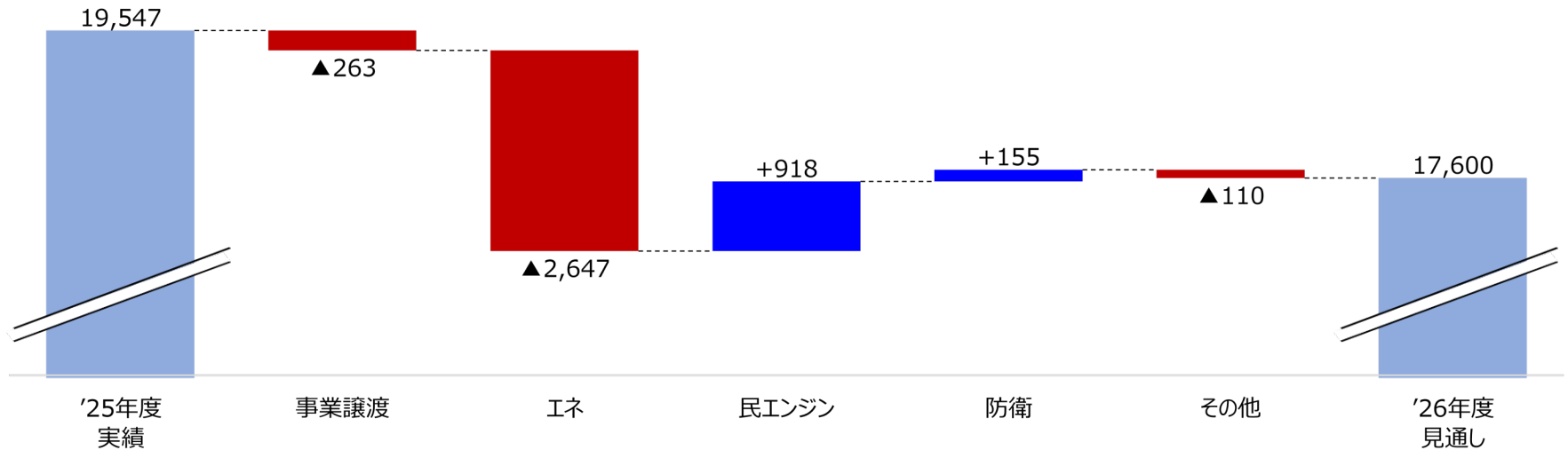
（参考）'26年度見通しに対するドル円為替感応度（1円当たり）：20億円
（PW1100G-JMエンジン追加検査プログラムの為替影響を除く）

2026年度 連結業績見通し

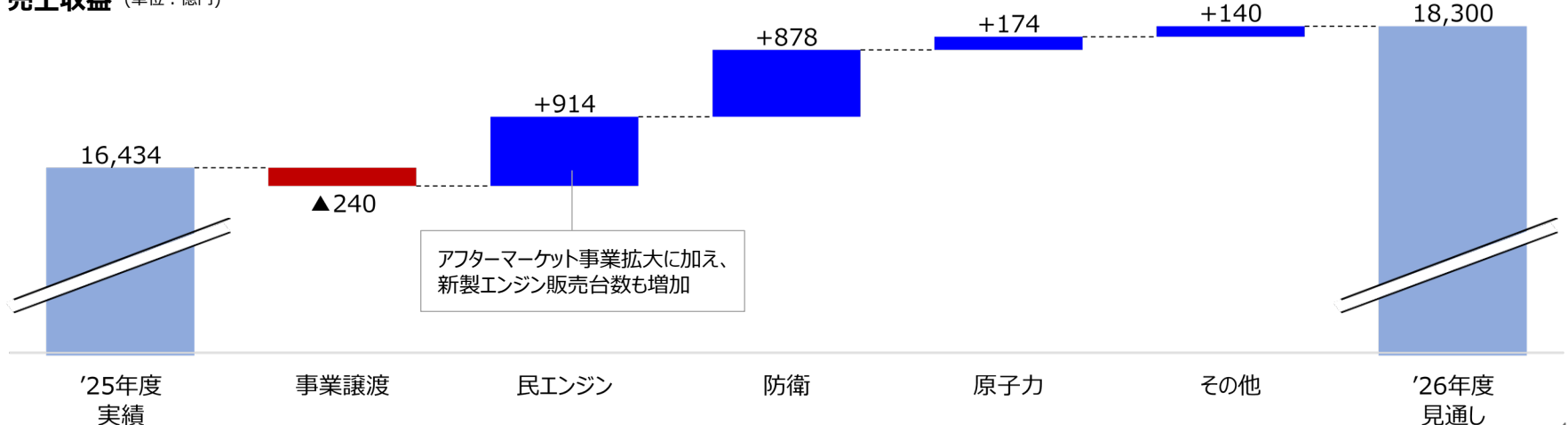
受注高・売上収益増減（全社）

受注高はエネルギーの前期大型案件の反動で減少するも、民間エンジンは堅調に拡大
売上収益は、民間エンジン、防衛が大きく牽引し、過去最高達成を見通し

受注高（単位：億円）



売上収益（単位：億円）



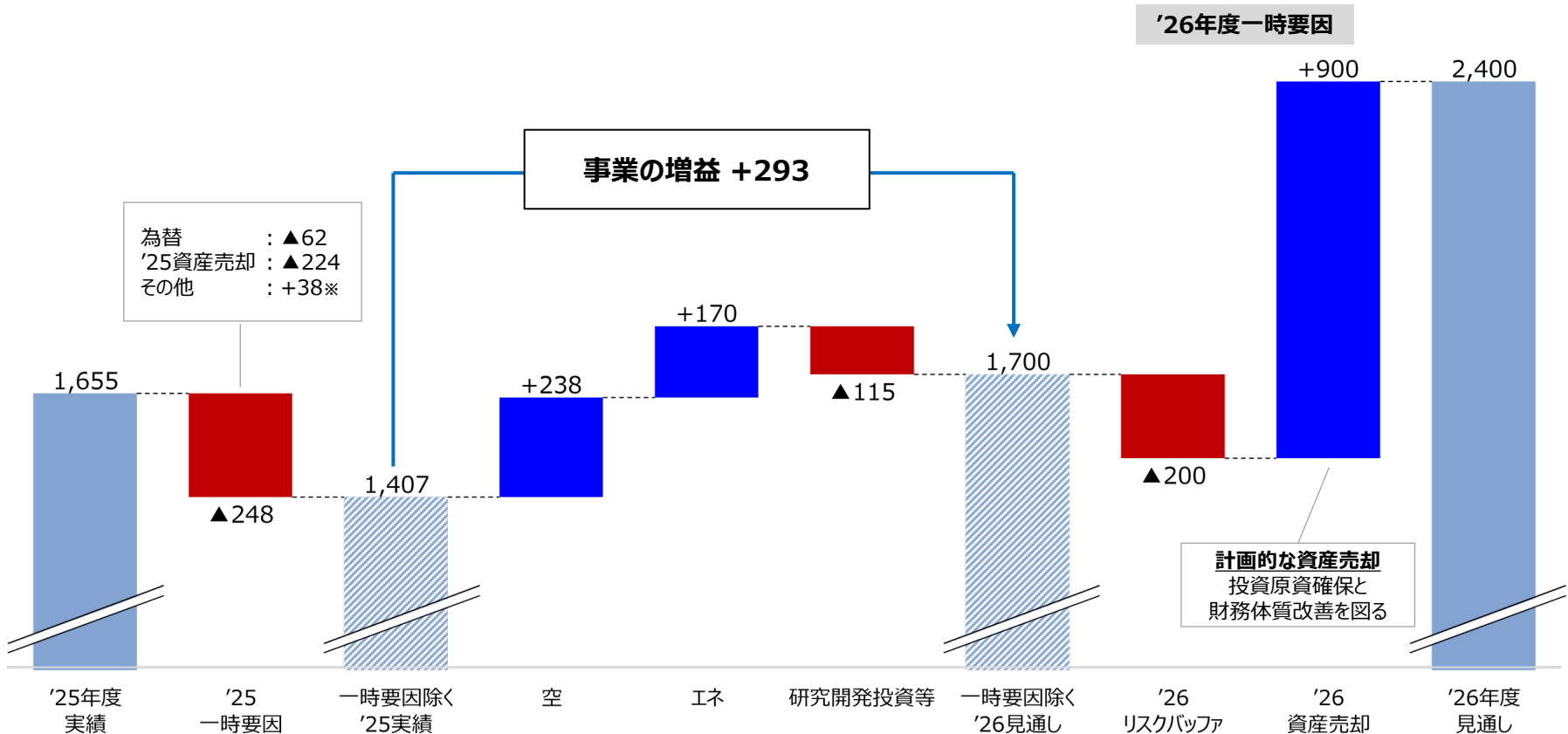
2026年度 連結業績見通し

営業利益増減要因（全社）

空とエネが大きく増益し、将来に向けた研究開発費の増加や、地政学リスクや構造改革に備えたバッファを織り込むも、資産売却も寄与し、過去最高益

2026年度業績見通し前提為替レート：145円/USD
 ('26年度見通しに対するドル円為替感応度（1円当たり）：20億円）

（単位：億円）



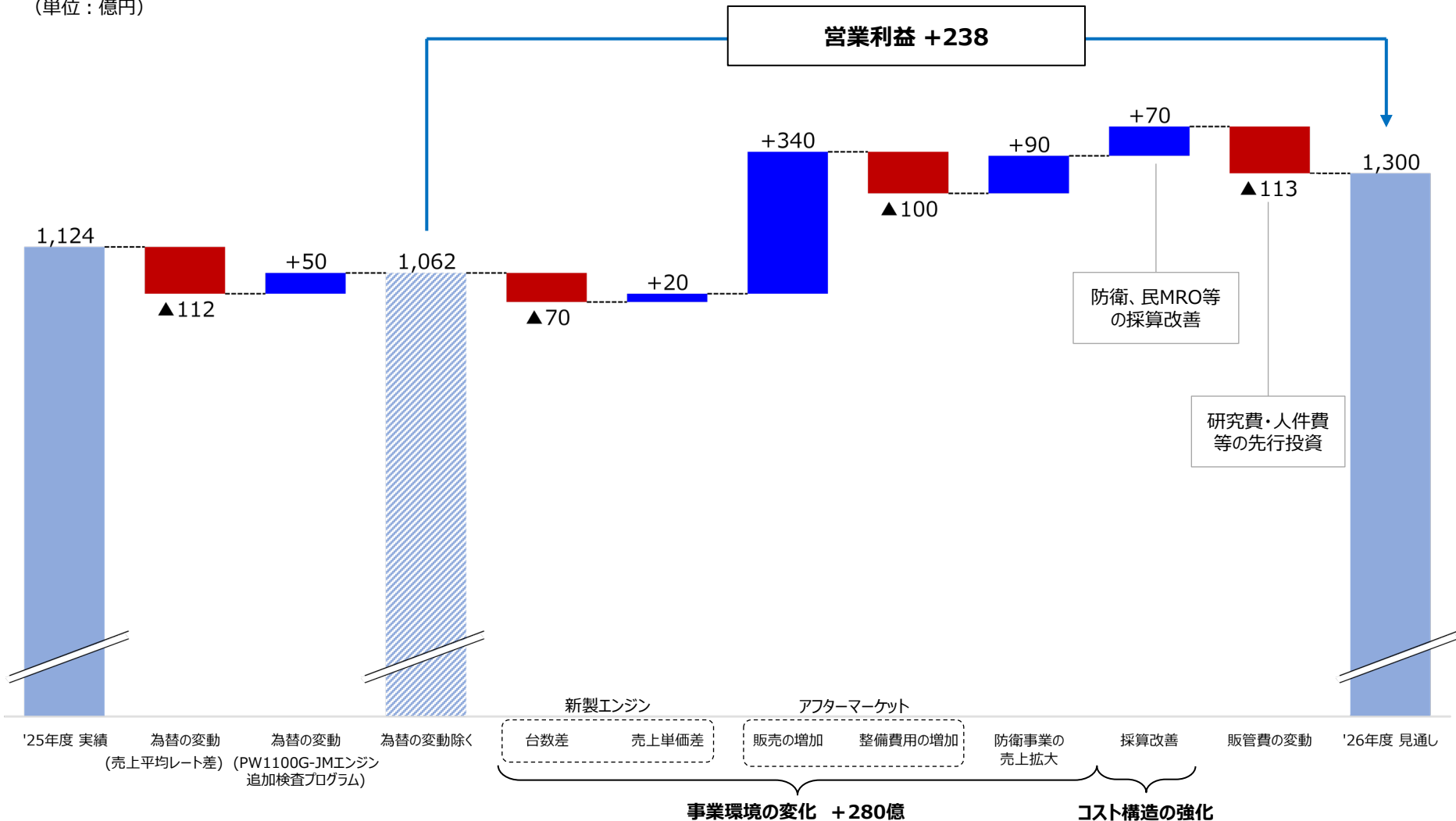
※+38：'25年度構造改革費用の反動+187、'25年度運搬機械など譲渡益の反動▲149

2026年度 連結業績見通し

営業利益増減要因（航空・宇宙・防衛）

民間エンジンおよび防衛は堅調に成長し、大きく増益
新製エンジン台数増は短期的に利益を押し下げるも、将来の利益拡大に大きく貢献

（単位：億円）

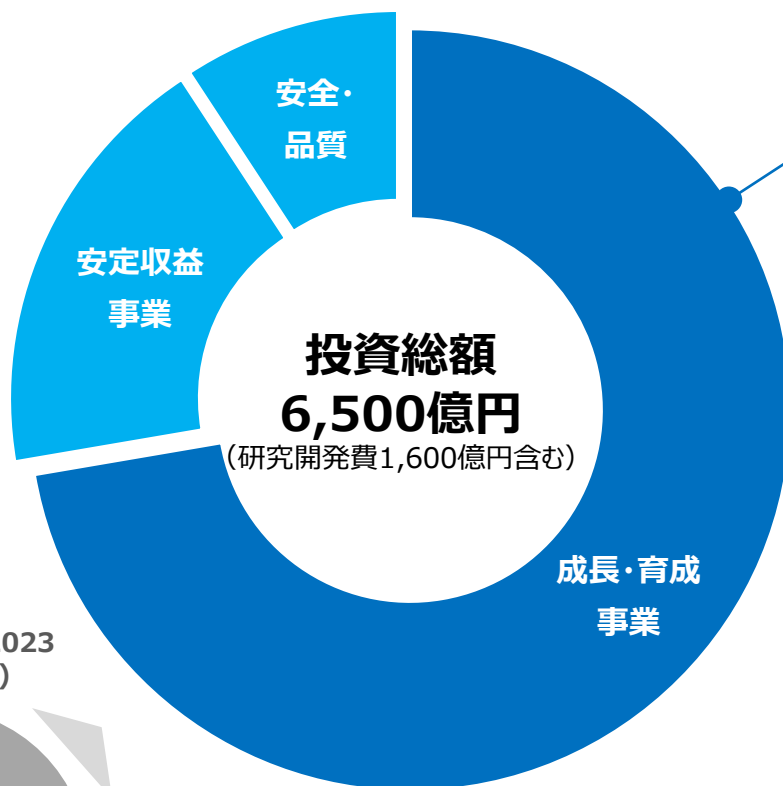


外部資本導入や会社清算など事業PF改革を断行し、収益性・資本効率は向上

公表日	事業	概要
2024.10.28	汎用ボイラ事業	株式会社タクマに株式会社IHI汎用ボイラ株式100%が譲渡完了（2025年4月1日）
2024.11.6	運搬システム事業	株式会社タダノにIHI運搬機械株式会社運搬システム事業が譲渡完了（2025年7月1日）
2024.11.25	芝草・芝生 管理機器事業	株式会社共栄社に株式会社IHIアグリテック芝草・芝生管理機器事業が譲渡完了（2025年6月1日）
2025.3.27	コンクリート建材事業	株式会社ベルテクスコーポレーションに株式会社IHI建材工業株式100%が譲渡完了（2025年10月1日）
2025.6.26	持分法投資	今治造船株式会社にジャパン マリンユナイテッド株式会社株式15%が譲渡完了（2026年1月5日）
2025.8.6	交通システム事業	株式会社J-Willパートナーズ グループに新潟トランス株式会社株式100%が譲渡完了（2025年12月30日）
2025.8.6	気象・防災・ 宇宙事業	能美防災株式会社に明星電気株式会社株式100%が譲渡完了（2026年2月2日）
2026.2.2	カーボンソリューション 事業	常石鉄工株式会社に寿鉄工株式会社株式100%が譲渡完了（2026年2月1日）
2026.2.10	カーボンソリューション 事業（海外）	IHI Energy Solutions Inc. の清算プロセス（従業員解雇等）を開始（2026年1月12日） 2025年度内に実質清算完了
2026.3.16	カーボンソリューション 事業（海外）	九州電力株式会社グループにIHI Power Services Corp.株式100%譲渡を合意（2026年5月末譲渡予定）
2026.5.8	カーボンソリューション 事業（海外）	IHI SOLID BIOMASS MALAYSIA SDN.BHD. の清算プロセスを開始
2026.5.8	物流・産業システム 事業	株式会社豊田自動織機に株式会社IHI物流産業システム株式100%譲渡を合意 （2027年4月1日に80%を譲渡、残り20%は5年後を目途として継続保有後に譲渡予定）

キャピタル・アロケーション (FY2026-FY2028)

今後3年間は、中長期にわたり大幅な成長が見込める民間エンジン・防衛・原子力事業、新たな成長の柱となる育成事業に優先的に資金を配分
FY2029以降の収益性向上、キャッシュ・フロー拡大を目指す



成長・育成事業の主要投資テーマ

民間エンジン・防衛

- ✓ 民間エンジン整備事業の能力増強
- ✓ 次世代エンジン事業への開発投資
- ✓ 素形材の開発 (FRP^{*1}、CMC^{*2}、鋳鍛造)

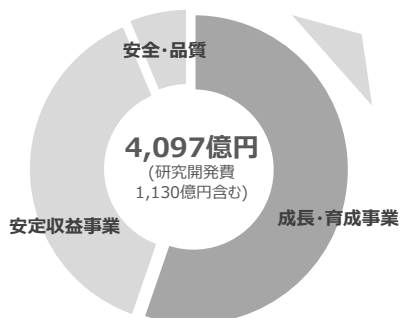
原子力

- ✓ 圧力容器や鋼製モジュールの製造技術力・生産性向上に向けた投資
- ✓ SMR^{*3}など次世代原子炉の開発投資

育成事業 (アンモニア・宇宙)

- ✓ アンモニアバリューチェーン構築に向けた投資
- ✓ 衛星コンステレーション事業への開発投資

グループ経営方針2023
(FY23-FY25)

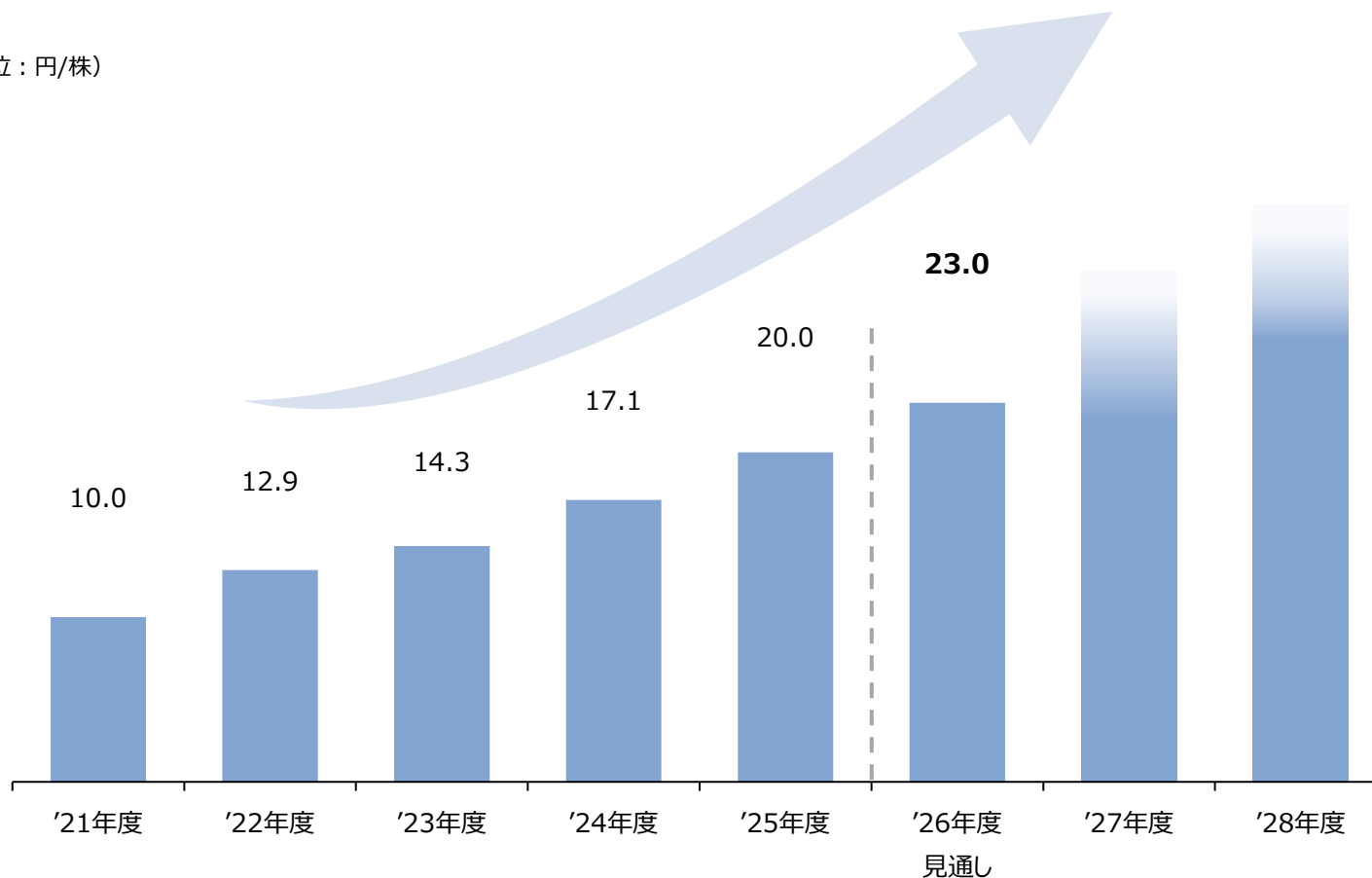


*1 FRP : 繊維強化プラスチック
*2 CMC : セラミックス基複合材料
*3 SMR : 小型モジュール原子炉

株主還元は、安定的な配当成長と財務規律維持・向上の両立を図る

<1株当たり配当金推移>

(単位：円/株)



1株当たり配当の持続的な成長を目指す

Appendix

2025年度 連結決算 報告セグメント別内訳（2024年度 vs 2025年度）

(単位：億円)	受注高			受注残高			売上収益			営業利益（率）		
	'24年度	'25年度	増減	'24年度末	'25年度末	増減	'24年度	'25年度	増減	'24年度	'25年度	増減
資源・エネルギー・環境	3,703	6,247	+2,544	4,376	6,985	+2,609	4,114	3,767	▲347	161 (3.9%)	59 (1.6%)	▲101 (▲2.3pt)
社会基盤	1,504	1,332	▲171	2,170	2,246	+76	1,460	1,319	▲140	▲42 (▲2.9%)	37 (2.8%)	+79 (+5.7pt)
産業システム・汎用機械	4,844	4,607	▲236	2,061	1,689	▲371	4,848	4,505	▲343	108 (2.2%)	307 (6.8%)	+199 (+4.6pt)
航空・宇宙・防衛	7,199	7,031	▲168	6,059	6,566	+506	5,557	6,517	+960	1,227 (22.1%)	1,124 (17.3%)	▲103 (▲4.8pt)
報告セグメント合計	17,251	19,219	+1,968	14,667	17,488	+2,820	15,980	16,108	+128	1,454	1,528	+74
その他	755	811	+55	206	195	▲11	772	843	+71	168	358	+190
調整額 (本社共通費用含む)	▲495	▲483	+11	-	-	-	▲484	▲518	▲34	▲187	▲232	▲44
合計	17,511	19,547	+2,036	14,873	17,683	+2,809	16,268	16,434	+165	1,435 (8.8%)	1,655 (10.1%)	+220 (+1.3pt)
海外	8,140	8,981	+840	2,891	3,616	+724	8,738	8,323	▲415			
海外比率	46%	46%	-	19%	20%	+1pt	54%	51%	▲3pt			

(注) 都市開発の報告セグメントを「社会基盤」から「その他」へ変更したことにより、実績を組み替えて表示している

2025年度 連結決算

報告セグメント別営業利益増減要因（2024年度 vs 2025年度）

（単位：億円）	事業環境の 変化	LCBの 拡大	コスト構造の 強化	為替の 変動	販管費の 変動	事業構造 改革	その他	合計
資源・エネルギー・環境	+7	+6	▲63	▲5	+6	▲100	+48	▲101
社会基盤	+7		+52		▲13	▲35	+68	+79
産業システム・汎用機械	+3	+26	+125		▲13	▲52	+110	+199
航空・宇宙・防衛	+80		+30	▲37	▲187		+70	▲103
PW1100G-JMエンジン 追加検査プログラム為替影響				▲59				
報告セグメント合計	+97	+32	+144	▲101	▲207	▲187	+296	+74
その他	+2						+188	+190
調整額（本社共通費用含む）					▲44			▲44
合計	+99	+32	+144	▲101	▲251	▲187	*+484	+220

* その他合計+484は、P.7で説明した「事業譲渡・'24年度一時要因の反動+364」と「資産売却+120」を含む

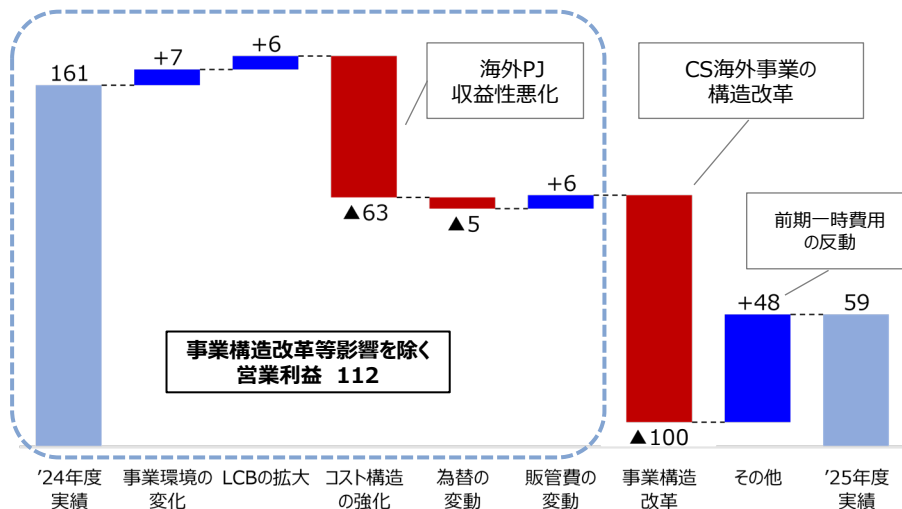
（注）

- ・ 報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。販管費の変動とその他の損益の増減では為替の変動等を除外
- ・ 都市開発の報告セグメントを「社会基盤」から「その他」へ変更したことにより、実績を組み替えて表示している

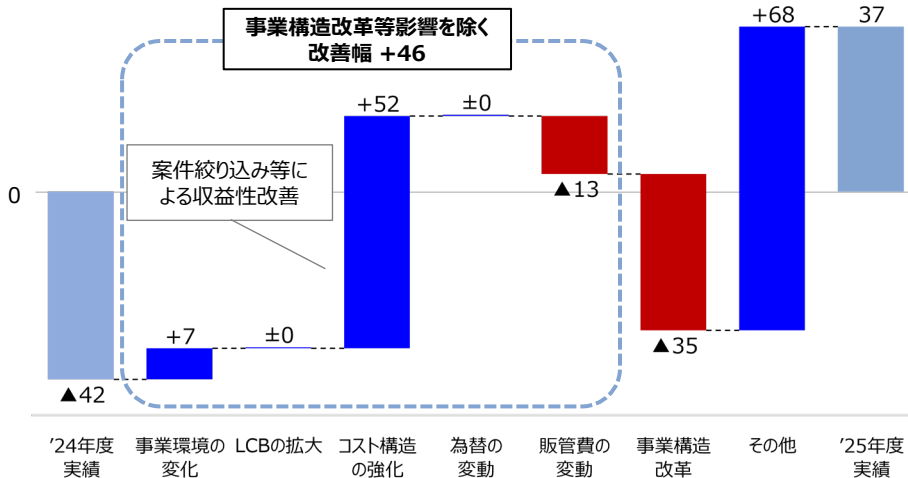
2025年度 連結決算 営業利益

IHI

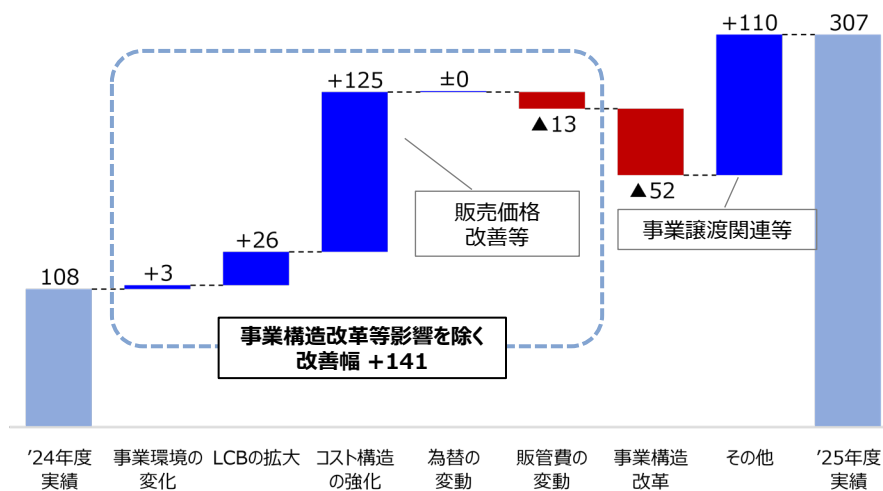
<資源・エネルギー・環境>



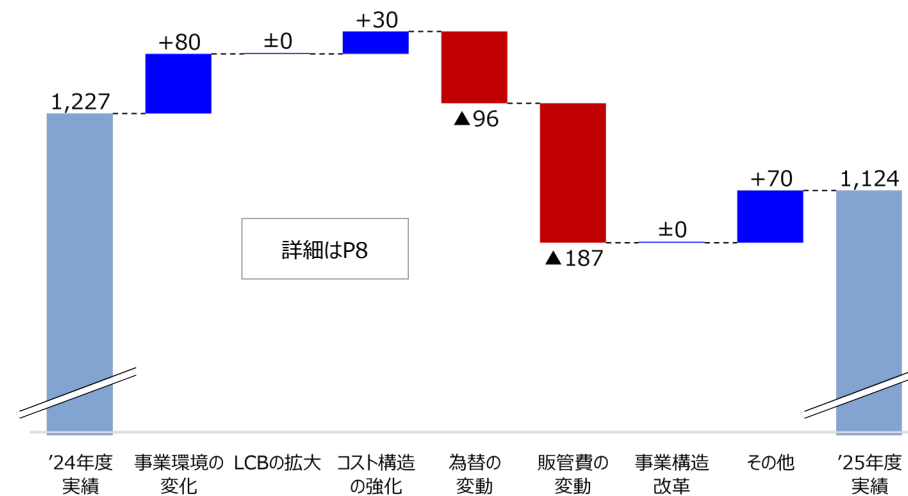
<社会基盤>



<産業システム・汎用機械>



<航空・宇宙・防衛>



2025年度 連結決算 キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)		'24年度	'25年度	増減
	税引前利益	1,384	1,854	+470
	減価償却費	721	763	+41
	その他	50	▲199	▲249
	EBITDA	2,156	2,418	+262
	PW1100G-JMエンジン追加検査 プログラム関連支出 *1	▲393	▲488	▲95
	運転資本増減 *2	▲12	266	+278
	税金支出	49	▲793	▲843
	その他	▲24	▲190	▲165
	営業キャッシュ・フロー	1,776	1,213	▲562
	投資キャッシュ・フロー	▲588	▲184	+403
	フリーキャッシュ・フロー	1,188	1,029	▲158
	財務キャッシュ・フロー	▲1,162	▲978	+183

*1 PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム関連支出は、従来の運転資本の増減と区別して記載

*2 運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示す
 運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

2026年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳 (2025年度 vs 2026年度見通し)

(単位：億円)	受注高			売上収益			営業利益		
	'25年度	'26年度	増減	'25年度	'26年度	増減	'25年度	'26年度	増減
資源・エネルギー・環境	6,247	3,600	▲2,647	3,767	3,900	+132	59 (1.6%)	330 (8.5%)	+270 (+6.9pt)
社会基盤	1,332	1,100	▲232	1,319	1,100	▲219	37 (2.8%)	70 (6.4%)	+32 (+3.6pt)
産業システム・汎用機械	4,607	4,500	▲107	4,505	4,400	▲105	307 (6.8%)	300 (6.8%)	▲7 (-)
航空・宇宙・防衛	7,031	8,100	+1,068	6,517	8,600	+2,082	1,124 (17.3%)	1,300 (15.1%)	+175 (▲2.2pt)
報告セグメント合計	19,219	17,300	▲1,919	16,108	18,000	+1,891	1,528	2,000	+471
その他	811	750	▲61	843	750	▲93	358	950	+591
調整額 (本社共通費用含む)	▲483	▲450	+33	▲518	▲450	+68	▲232	▲550	▲317
合計	19,547	17,600	▲1,947	16,434	18,300	+1,865	1,655 (10.1%)	2,400 (13.1%)	+744 (+3.0pt)

報告セグメント別営業利益増減要因（2025年度 vs 2026年度見通し）

（単位：億円）	事業環境の 変化	LCBの 拡大	コスト構造の 強化	為替の 変動	販管費の 変動	事業構造 改革	その他	合計
資源・エネルギー・環境		+15	+110		+45		+100	+270
社会基盤	▲10		▲3		+10		+35	+32
産業システム・汎用機械		+15	+9				▲31	▲7
航空・宇宙・防衛	+280		+70	▲62	▲113			+175
報告セグメント合計	+270	+30	+186	▲62	▲58	-	+104	+471
その他	▲20		+2				+610	+591
調整額（本社共通費用含む）			▲7		▲110	▲200		▲317
合計	+250	+30	+181	▲62	▲168	▲200	* +714	+744

* その他合計+714は、P.13で説明した「'25資産売却▲224」、「'26資産売却+900」、「その他+38」を含む

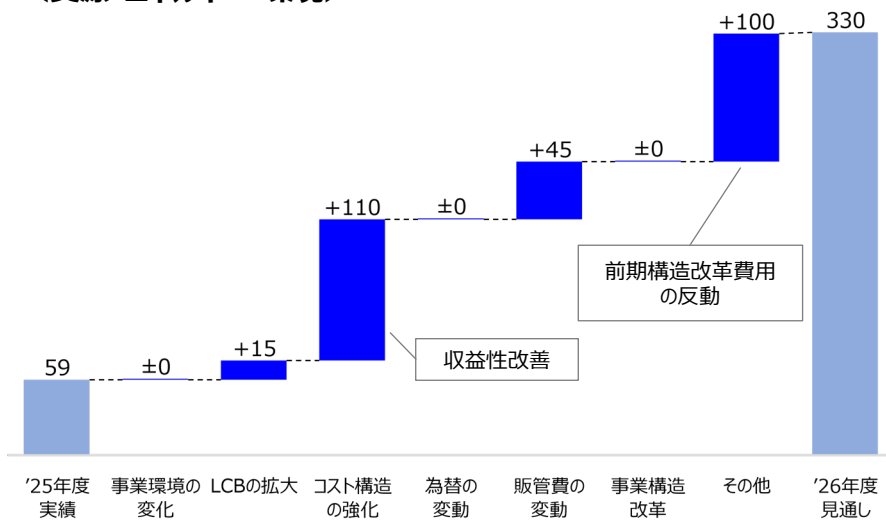
（注）報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。販管費の変動とその他の損益の増減では為替の変動等を除外

2026年度 連結業績見通し

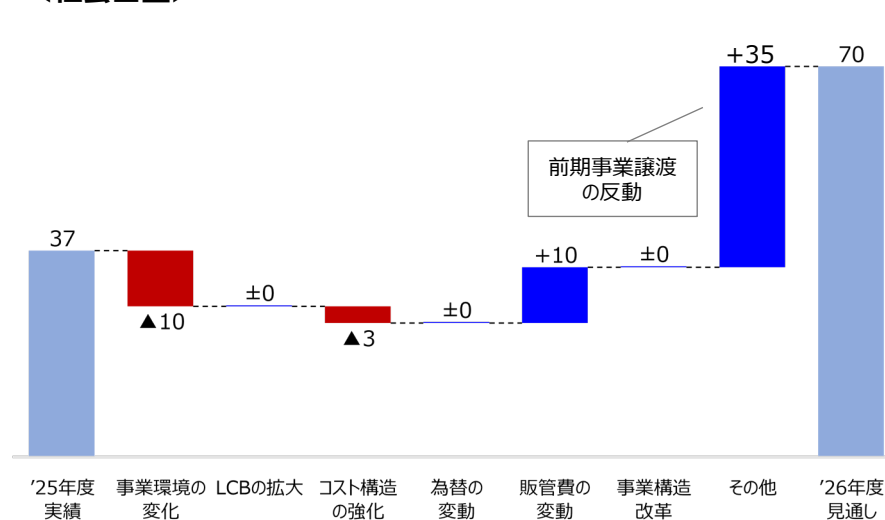
営業利益

IHI

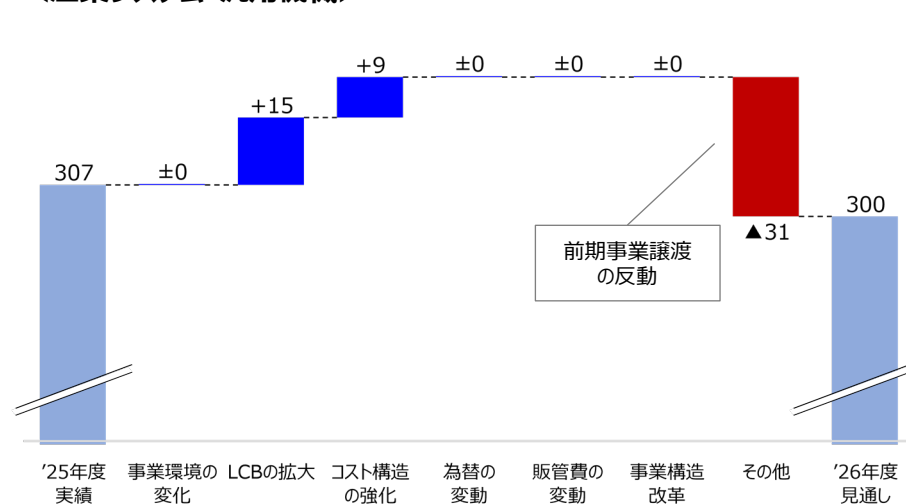
<資源・エネルギー・環境>



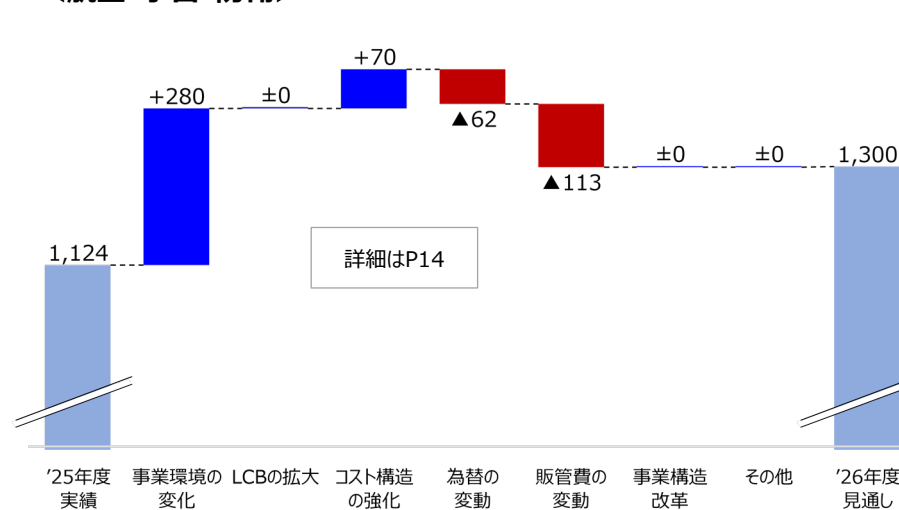
<社会基盤>



<産業システム・汎用機械>



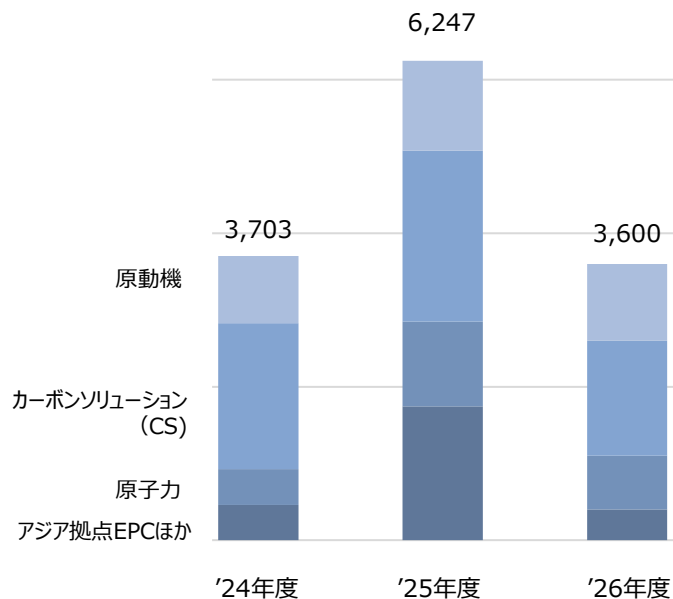
<航空・宇宙・防衛>



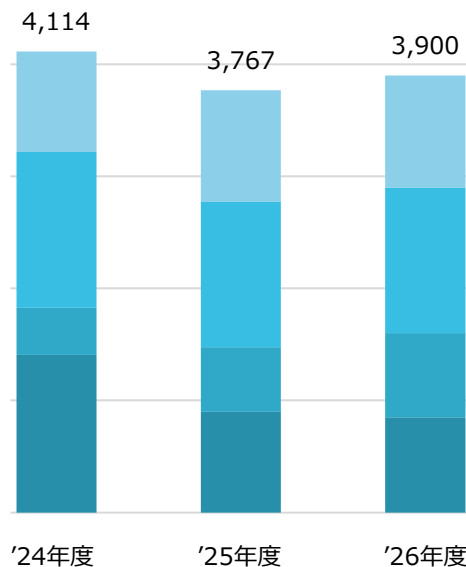
報告セグメント別決算実績・見通し <資源・エネルギー・環境>

(単位：億円)

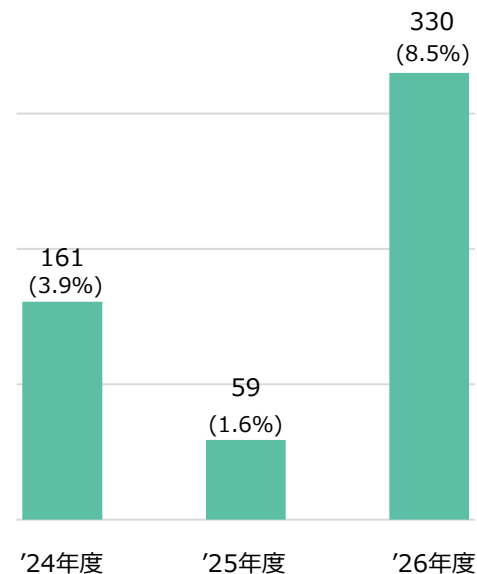
受注高



売上収益



営業利益



受注高

	'24年度	'25年度	'26年度
原動機	874	1,172	1,000
カーボンソリューション	1,904	2,227	1,500
原子力	464	1,104	700
アジア拠点EPC	481	1,766	400

売上収益

	'24年度	'25年度	'26年度
原動機	897	995	1,000
カーボンソリューション	1,391	1,298	1,300
原子力	419	576	750
アジア拠点EPC	1,427	917	850

補足説明

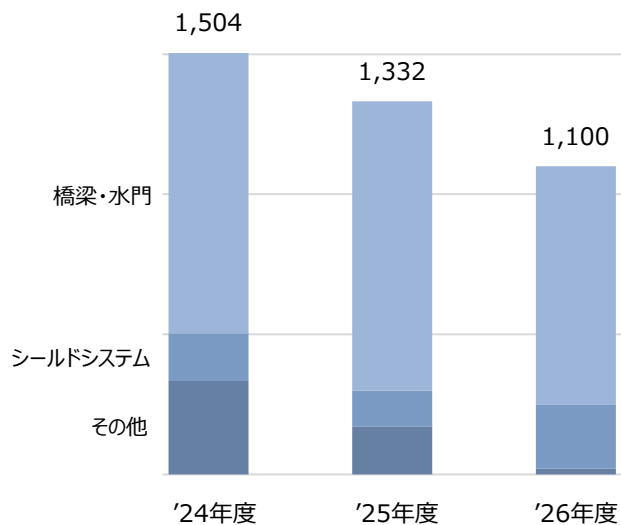
'26年度見通し

- 受注高は前期大型案件の反動により前期比で減少するも、受注案件の進捗が進み売上収益は**増収**
- 営業利益は、エネルギー海外事業の収益改善や、前期事業構造改革の反動により**増益**

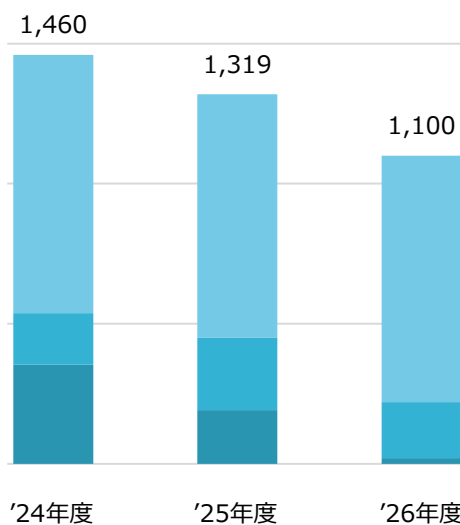
報告セグメント別決算実績・見通し <社会基盤>

(単位：億円)

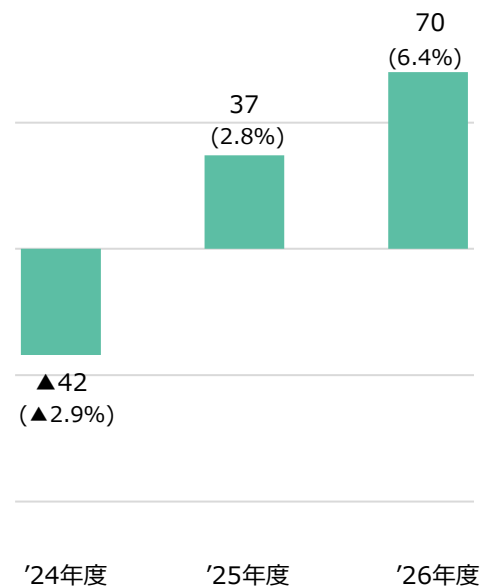
受注高



売上収益



営業利益



	受注高		
	'24年度	'25年度	'26年度
橋梁・水門	1,001	1,033	850
シールドシステム	170	128	230
譲渡事業	320	153	-

	売上収益		
	'24年度	'25年度	'26年度
橋梁・水門	922	868	880
シールドシステム	184	260	200
譲渡事業	340	174	-

補足説明
'26年度見通し <ul style="list-style-type: none"> 受注高・売上収益ともに、コンクリート建材事業譲渡(25年10月1日)、交通システム事業譲渡(25年12月30日)の影響により、前期比で減少 営業利益は橋梁・水門の収益性向上や、前期事業譲渡の反動で増益

(注) 都市開発の報告セグメントを「社会基盤」から「その他」へ変更したことにより、実績を組み替えて表示している

報告セグメント別決算実績・見通し <産業システム・汎用機械>

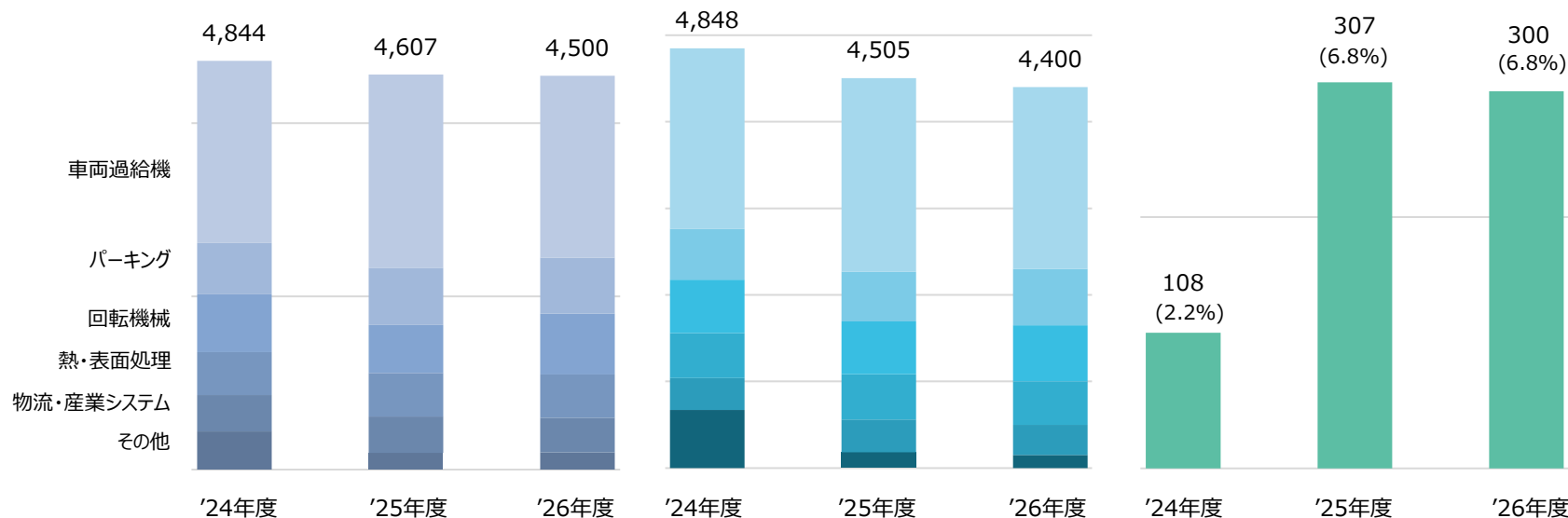
IHI

(単位：億円)

受注高

売上収益

営業利益



	受注高			売上収益		
	'24年度	'25年度	'26年度	'24年度	'25年度	'26年度
車両過給機	2,102	2,231	2,100	2,086	2,237	2,100
パーキング	592	661	650	587	573	650
回転機械	668	553	700	616	610	650
熱・表面処理	498	504	500	521	523	500
物流・産業システム	419	420	400	367	382	350
譲渡事業	470	110	-	517	66	-

補足説明

'25年度実績

- 前期比では、事業譲渡益や車両過給機等の収益性向上により大きく**増益**
- 但し第4四半期に、事業譲渡クロージング後価格調整や車両過給機、熱・表面の欧州事業の固定費最適化に向けた先手を打ったことで、2月公表見通し(26年2月10日)から、下回って着地

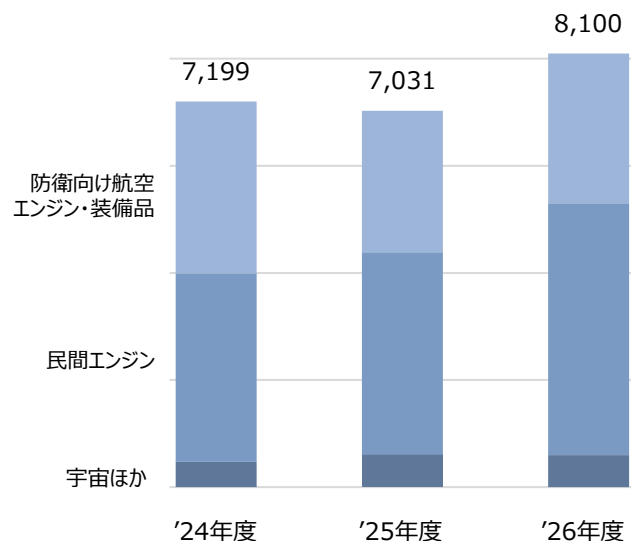
'26年度見通し

- 前期事業譲渡益の反動はあるも、増販益や収益性向上が寄与し、営業利益は**前期同水準**

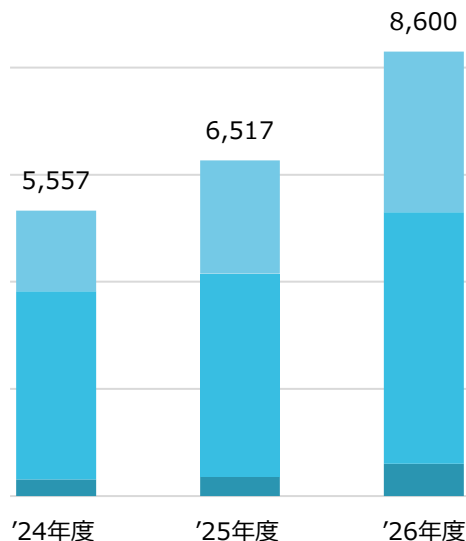
報告セグメント別決算実績・見通し <航空・宇宙・防衛>

(単位：億円)

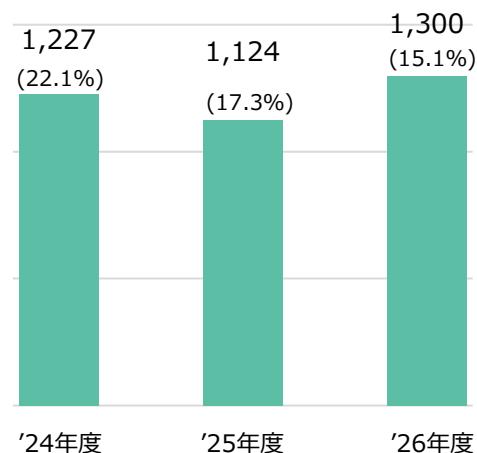
受注高



売上収益



営業利益



	受注高		
	'24年度	'25年度	'26年度
防衛向け航空エンジン・装備品	3,205	2,644	2,800
民間エンジン	3,524	3,781	4,700
宇宙	588	313	400

	売上収益		
	'24年度	'25年度	'26年度
防衛向け航空エンジン・装備品	1,502	2,121	3,000
民間エンジン	3,516	3,786	4,700
宇宙	297	352	550

補足説明

'26年度見通し

- 受注高・売上収益は、民間エンジン、防衛の事業拡大により、大きく**増加**
- 営業利益は民間エンジンのアフターマーケット事業の拡大、防衛事業の事業拡大や収益性改善により**増益**

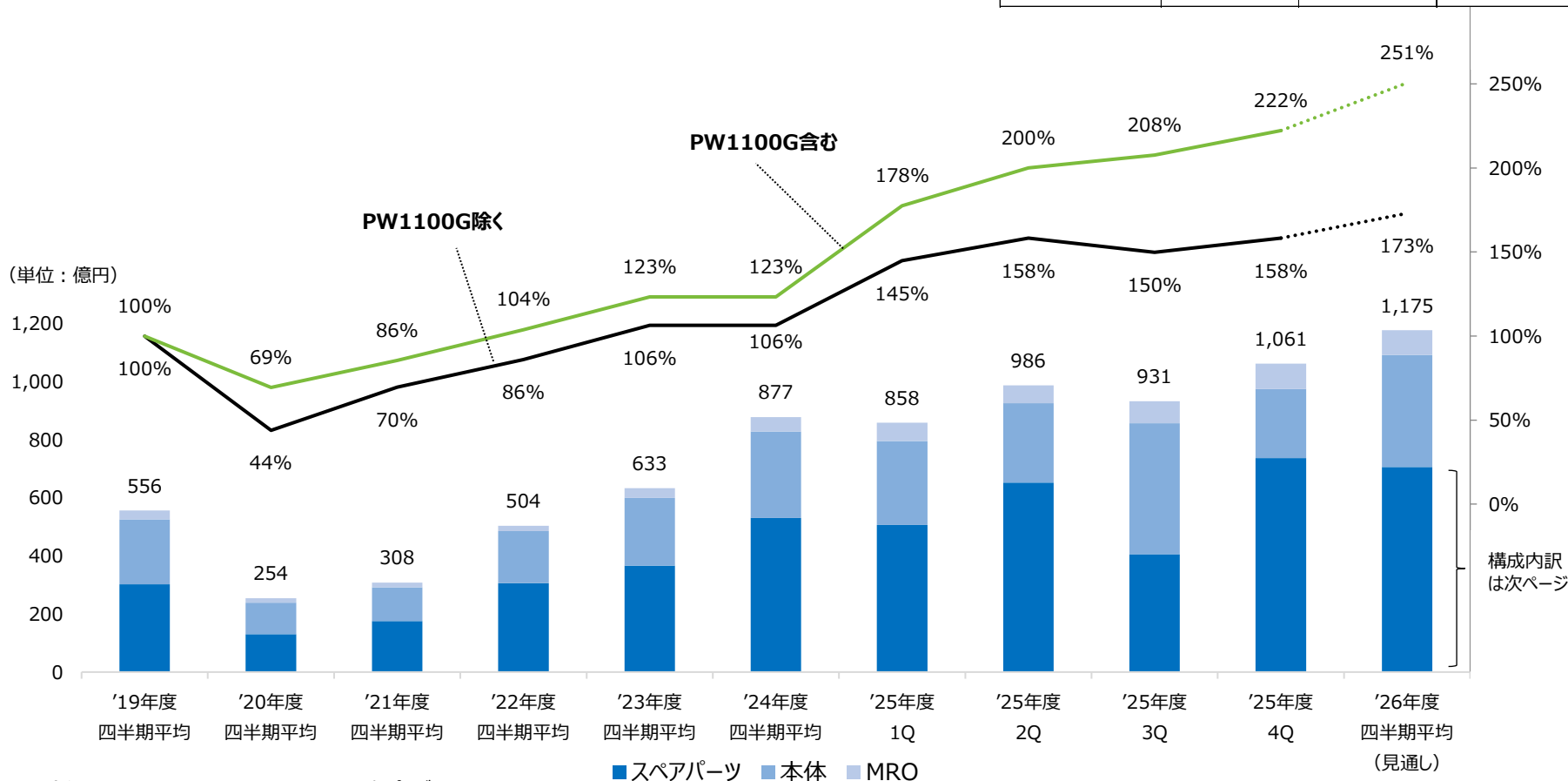
【参考】民間エンジン事業の売上収益の推移^{*1}

■ 民間エンジン事業の売上収益・スเปアパーツ取扱高の推移^{*2}

折れ線グラフ：スเปアパーツ取扱高（USDベース）の推移（'19年度四半期平均に対する割合）
棒グラフ：売上収益（億円）

■ 民間エンジン事業の売上収益の本体・スเปアパーツ・MRO比率

	スเปアパーツ比率	本体比率	MRO比率
'24年度実績	60%	34%	6%
'25年度実績	60%	33%	7%
'26年度見通し	60%	33%	7%

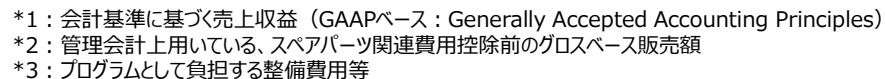


(注) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム影響を除く

*1：会計基準に基づく売上収益（GAAPベース：Generally Accepted Accounting Principles）

*2：管理会計上用いている、スเปアパーツ関連費用控除前のグロスベース販売額

(単位：M USD)



整備エンジン出荷遅れに伴う'24年度→'25年度への費用発生ズレはあるものの
スเปアパーツ販売は堅調に推移しており、'26年度は利益拡大を見込む

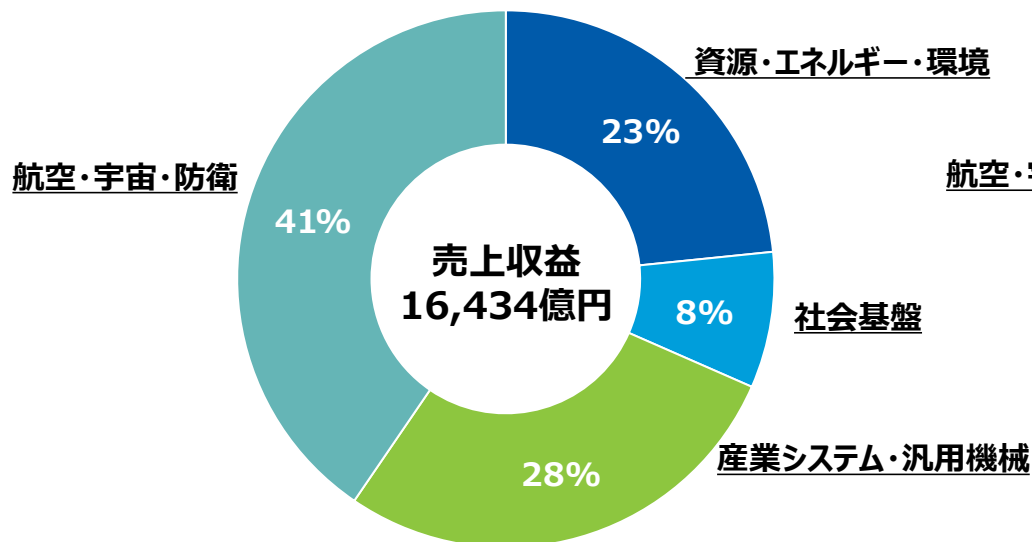
(単位：億円)		'24年度 1Q	'24年度 2Q	'24年度 3Q	'24年度 4Q	'25年度 1Q	'25年度 2Q	'25年度 3Q	'25年度 4Q	'23年度 四半期 平均	'24年度 四半期 平均	'25年度 四半期 平均	'26年度 (見通し) 四半期平均
空 セグメント営業利益		238	527	180	281	279	267	159	417	142	306	281	325
調 整 項 目	為替影響①	▲ 57	▲ 22	▲ 25	▲ 39	▲ 3	▲ 11	▲ 48	▲ 50	▲ 1	▲ 36	▲ 28	0
	為替影響②	98	▲ 181	143	▲ 69	▲ 36	28	44	14		▲ 2	13	0
	米エアライン貸倒引当金			70							18		
調整後 空セグメント営業利益 (為替145円ベース)		279	324	368	173	240	284	155	381	141	286	265	325

(調整項目)

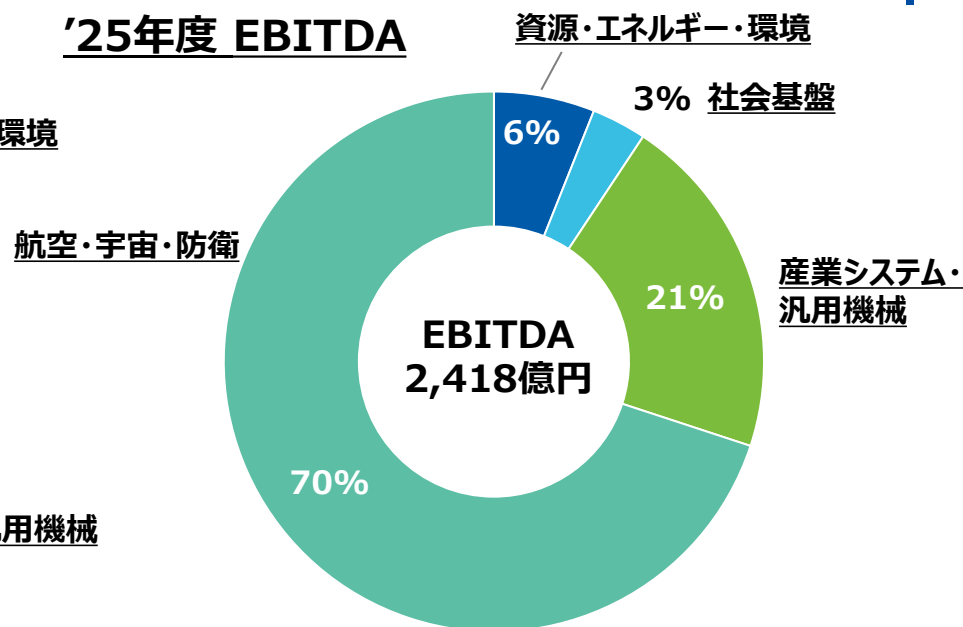
- ・ 為替影響①：売上平均レートを145円/USDベースに修正
- ・ 為替影響②：PW1100G-JMエンジン追加検査プログラムの為替影響を除外

整備エンジン出荷に伴う
費用発生ズレあり

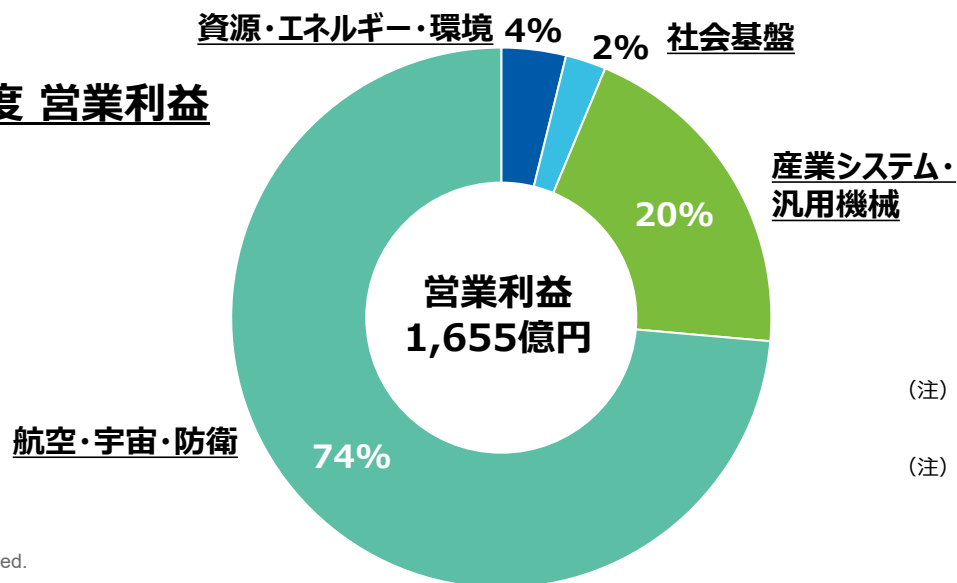
'25年度 売上収益



'25年度 EBITDA



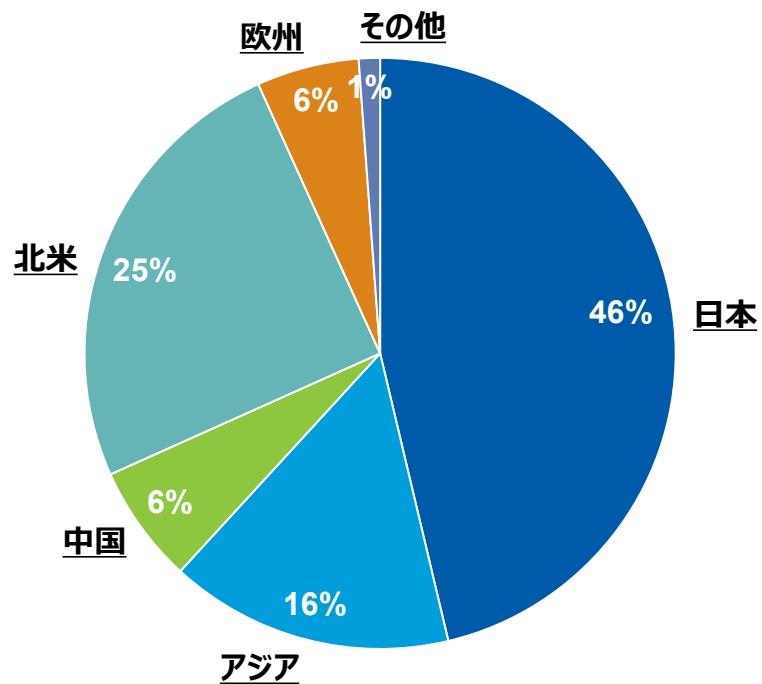
'25年度 営業利益



(注) 各円グラフの比率 (%) は、報告セグメント合計に対する構成比率を示す

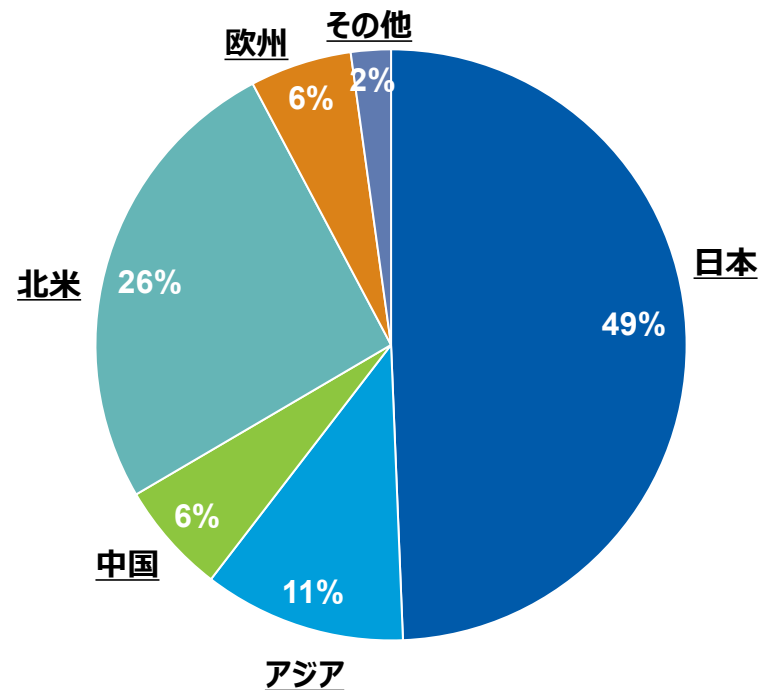
(注) セグメント別EBITDA
=各セグメント営業利益+各セグメント減価償却費

'24年度



海外売上収益 8,738億円

'25年度

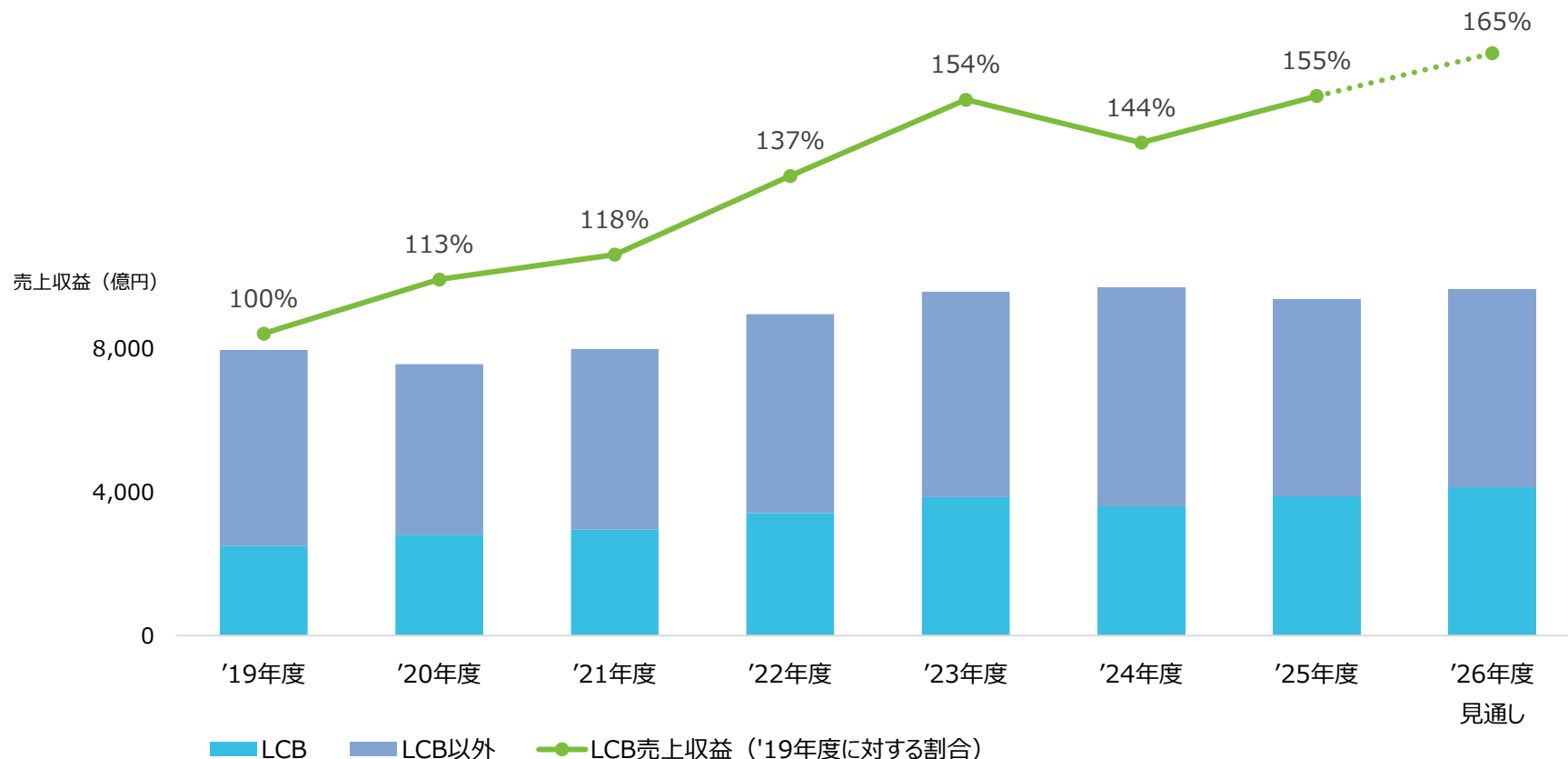


海外売上収益 8,323億円

中核事業におけるライフサイクルビジネス（LCB）の状況

（注1）中核事業：エネ・社基・産汎

（注2）事業譲渡・セグメント変更による影響のあるコンクリート建材、運搬機械、交通および都市開発は過去実績から除いている



(単位：億円)	'24年度末	'25年度末	増減
資産合計	22,403	24,285	+1,881
うち現金及び現金同等物	1,368	1,550	+182
うち営業債権，契約資産	6,206	6,808	+601
うち棚卸資産	4,440	5,042	+601
負債合計	17,317	17,470	+152
うち営業債務等	2,872	4,014	+1,142
うち契約負債	2,529	3,114	+584
うち返金負債	1,530	1,106	▲423
うち有利子負債	5,147	4,898	▲248
社債および借入金	3,893	3,595	▲298
リース負債	1,253	1,303	+50
資本合計	5,086	6,815	+1,728
親会社の所有者に帰属する持分	4,817	6,522	+1,705
非支配持分	269	292	+23
負債及び資本合計	22,403	24,285	+1,881

(注) 2025年度の組織再編を受けて、都市開発は過去に遡って「社会基盤」から「その他」に付け替えている

(単位：億円)	資産残高		
	'24年度末	'25年度末	増減
資源・エネルギー・環境	3,384	3,359	▲24
社会基盤	1,650	1,232	▲417
産業システム・汎用機械	3,670	3,503	▲167
航空・宇宙・防衛	9,963	12,092	+2,129
報告セグメント合計	18,668	20,189	+1,520
その他	3,499	2,597	▲901
調整額	235	1,498	+1,262
合計	22,403	24,285	+1,881

キャッシュ・フロー、研究開発、設備投資の状況

(単位：億円)		'24年度	'25年度	'26年度 見通し
	税引前利益	1,384	1,854	2,300
	減価償却費	721	763	800
	その他	50	▲199	100
	EBITDA	2,156	2,418	3,200
	PW1100G-JMエンジン追加検査 プログラム関連支出 ^{*1}	▲393	▲488	▲500
	運転資本増減 ^{*2}	▲12	266	▲1,000
	その他	24	▲983	▲700
	営業キャッシュ・フロー	1,776	1,213	1,000
	投資キャッシュ・フロー	▲588	▲184	▲250
	投資キャッシュ・フローのうち設備投資等	(▲602)	(▲917)	(▲1,300)
	フリーキャッシュ・フロー	1,188	1,029	750

*1 PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム関連支出は、従来の運転資本の増減と区別して記載

*2 運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示す
 運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

(単位：億円)		'24年度	'25年度	'26年度 見通し
	研究開発費	340	396	500
	設備投資額	974	976	1,300
	減価償却費	721	763	800

主要な経営指標の推移

	'19年度	'20年度	'21年度	'22年度	'23年度	'24年度	'25年度	'26年度 (見通し)
受注高	12,800億円	10,970億円	12,612億円	13,661億円	13,768億円	17,511億円	19,547億円	17,600億円
売上収益	12,631億円	11,129億円	11,729億円	13,529億円	13,225億円	16,268億円	16,434億円	18,300億円
営業利益	478億円	279億円	814億円	819億円	▲ 701億円	1,435億円	1,655億円	2,400億円
親会社所有者帰属 当期利益	82億円	130億円	660億円	445億円	▲ 682億円	1,127億円	1,609億円	1,650億円
EPS *1	7.70円	12.59円	62.82円	42.07円	▲ 64.40円	106.41円	151.88円	155.09円
EBITDA *2	954億円	923億円	911億円	1,511億円	1,750億円	2,156億円	2,418億円	3,200億円
営業CF	424億円	363億円	1,141億円	541億円	621億円	1,776億円	1,213億円	1,000億円
投資CF	▲ 855億円	▲ 404億円	279億円	▲ 523億円	▲ 516億円	▲ 588億円	▲ 184億円	▲ 250億円
FCF	▲ 430億円	▲ 41億円	1,420億円	17億円	104億円	1,188億円	1,029億円	750億円
配当 *1 (中間/期末)	7.14円/株 (4.29円/2.86円)	0円/株	10.00円/株 (4.29円/5.71円)	12.86円/株 (5.71円/7.14円)	14.29円/株 (7.14円/7.14円)	17.14円/株 (7.14円/10.00円)	20.00円/株 (10.00円/ 10.00円)	23.00円/株 (11.50円/ 11.50円)
営業利益率	3.8%	2.5%	6.9%	6.1%	▲5.3%	8.8%	10.1%	13.1%
ROIC	4.1%	2.2%	6.4%	6.3%	▲4.9%	10.5%	11.0%	10.1% ^{*3}
ROE	2.8%	4.5%	19.3%	11.0%	▲16.9%	26.3%	28.4%	23.2%
CCC *2	92日	124日	112日	120日	132日	115日	109日	120日
D/ELレシオ	2.00倍	1.85倍	1.24倍	1.14倍	1.43倍	1.01倍	0.72倍	0.54倍
親会社所有者帰属 持分比率	15.0%	16.4%	20.3%	22.2%	17.9%	21.5%	26.9%	31.8%

ROIC：（営業利益＋受取利息・配当金）税引後／（親会社の所有者に帰属する持分＋有利子負債）

ROE：親会社所有者帰属当期利益／親会社の所有者に帰属する持分

CCC：運転資本／売上収益×365日

D/ELレシオ：有利子負債／資本合計

親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／負債・資本合計

*1 2025年10月の株式分割（7分割）から過去にわたり遡及修正したもの。小数点第3位で四捨五入

*2 PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム、IHI E&C訴訟和解影響に関する損失計上を除く

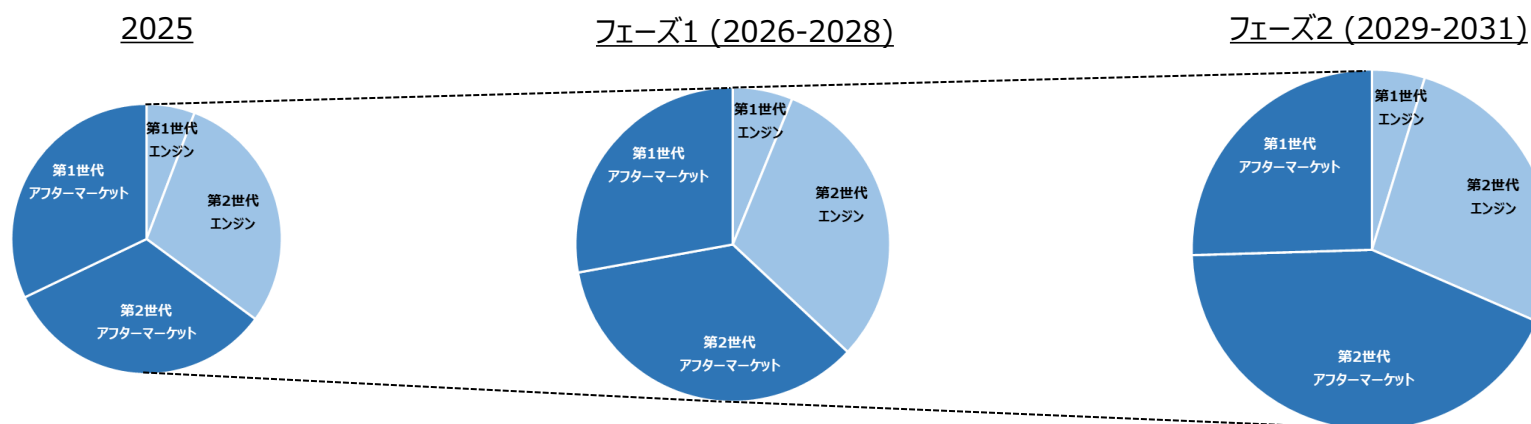
*3 '26年度見通しのROICは一時要因の影響を除く

機種別販売台数

(単位：台)	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26 見通し	備考
GE Engines	817	810	684	681	798	477	332	337	331	330	390		GE90/GE9X/CF34 Passport20/GE9X
V2500	427	340	272	180	47	5	16	20	6	19	22		
PW1100G-JM	16	132	250	660	726	360	441	561	675	681	666		
合計	1,260	1,282	1,206	1,521	1,571	842	789	918	1,012	1,030	1,078	1,330	

売上収益：新製エンジン・アフターマーケット割合（イメージ）

フェーズ1は、第2世代新製エンジンの販売が拡大
フェーズ2以降、アフターマーケット事業の規模拡大・売上割合が上昇し、利益の大幅成長フェーズに移行



注：パイチャートの大きさは売上収益規模のイメージを表す

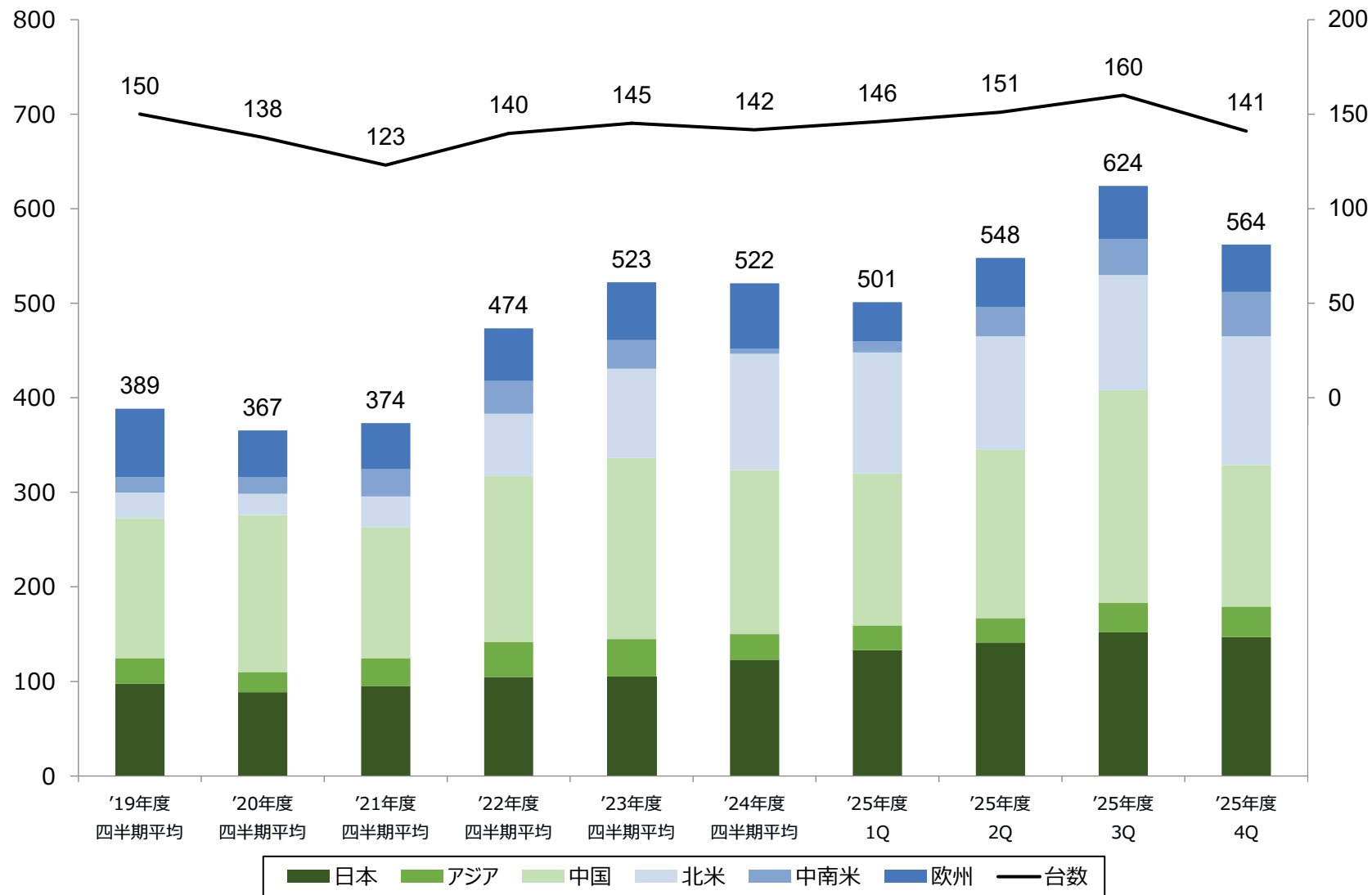
第1世代エンジン：V2500/GE90/CF34
第2世代エンジン：GEnx/PW1100G-JM/Passport20/GE9X

(単位：億円)	日本基準				IFRS							
	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26 見通し
日本	346	389	398	446	391	354	380	418	421	491	573	500
アジア	216	158	117	110	107	85	118	149	158	109	115	120
中国	249	485	719	631	572	665	554	702	766	694	714	600
北米	24	33	84	116	108	90	131	264	378	492	506	440
中南米	34	61	74	75	66	69	115	138	121	23	128	300
欧州	743	617	811	513	289	199	195	223	245	275	199	140
その他	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	2	0
合計	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,494	1,895	2,090	2,086	2,237	2,100
販売台数（万台）	536	610	790	676	600	551	492	559	581	567	598	590

車両過給機 地域別売上収益・販売台数推移

売上収益（億円）

台数（万台）



(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(単位：億円)	日本基準				IFRS						
	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25
賃貸収入	101	93	92	93	94	123	121	122	120	122	129

(2) 豊洲地区 賃貸収入、賃貸費用実績

(単位：億円)	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'25年度	129	59	50	+20

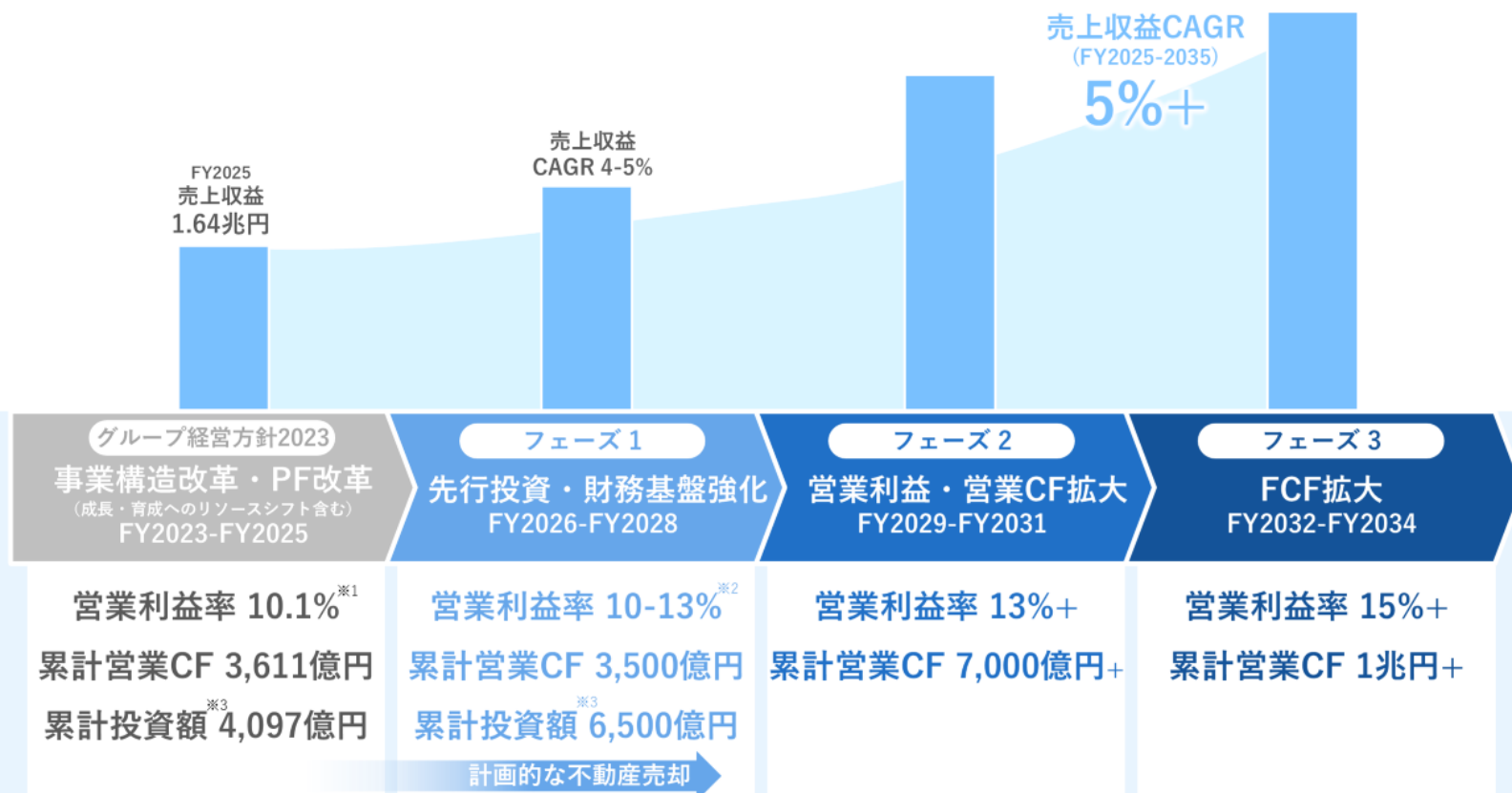
(3) グループ保有投資不動産の期末公正価値等

(単位：億円)	期末残高	期末公正価値	期末公正価値 － 期末残高
'25年度	1,448	3,571	2,123

中長期に向けたロードマップ

IHI

- 今後3か年は、FY2029以降の営業利益・営業CF大幅拡大、FY2032以降のFCF大幅拡大を実現するための**先行投資**および**財務基盤強化**に注力
- 成長機会を逸することなく投資を実行しつつ、**収益性・キャッシュ創出力の着実な向上**を実現



※1：2025年度実績 ※2：2026年度から2028年度における営業利益率の目安レンジ ※3：投資CFとは一致しない（研究開発費を含み、資産売却は含まないため）
© IHI Corporation All Rights Reserved.



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。